



毎日、発明する会社

2023年4月期

通期決算説明資料

フリービット株式会社

2023年6月9日

1.	『SiLK VISION 2024』の現在地と 次期中期経営計画に向けての最終年度方針	・ ・ ・ ・ ・	3
2.	2023年4月期 通期連結業績	・ ・ ・ ・ ・	59
3.	2023年4月期 通期 セグメント別業績	・ ・ ・ ・ ・	73
4.	2024年4月期 通期連結業績予想	・ ・ ・ ・ ・	86
5.	Appendix	・ ・ ・ ・ ・	90

# 『SiLK VISION 2024』の現在地と 次期中期経営計画に向けての最終年度方針



毎日、発明する会社

# 2023年4月期 通期 連結業績サマリ

(単位：百万円)		22年4月期 通期	23年4月期 通期		増減額		増減率	
			実績	業績予想 (上方修正後)	前期比	業績予想比 (上方修正後)	前期比	業績予想比 (上方修正後)
売上高	実績	43,075	<b>46,771</b>	46,000	+3,695	+771	+8.6%	+1.7%
EBITDA	実績	3,290	<b>4,065</b>	—	+775	—	+23.6%	—
営業利益	実績	3,165	<b>4,007</b>	3,500	+842	+507	+26.6%	+14.5%
	ベース 利益	(4,835)	<b>(5,291)</b>	—	(+455)	—	(+9.4%)	—
経常利益	実績	2,878	<b>3,707</b>	3,250	+828	+457	+28.8%	+14.1%
	ベース 利益	(4,549)	<b>(4,991)</b>	—	(+441)	—	(+9.7%)	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	実績	827	<b>1,792</b>	1,650	+964	+142	+116.5%	+8.6%
1株当たり 当期純利益	実績	41円86銭	<b>95円07銭</b>	—	53円21銭	—	—	—

※ベース利益は一時的な投資を除いた事業利益数値です。なお、未監査の参考数値となります。

# 『SiLK VISION 2024』 Year 2/3

過去最高益

(営業利益)

4,007百万円

戦略投資

1,284百万円

SiLK Investment Policy

# 『SiLK VISION 2024』 Year 2/3

過去最高益

(営業利益)

4,007百万円

戦略投資

1,284百万円

SiLK Investment Policy

SiLK VISION 2020

SiLK VISION 2024

SiLK VISION 2027

SiLK VISION 2030

インキュベーションゾーン

トランスフォーメーションゾーン

パフォーマンスゾーン

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)  
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

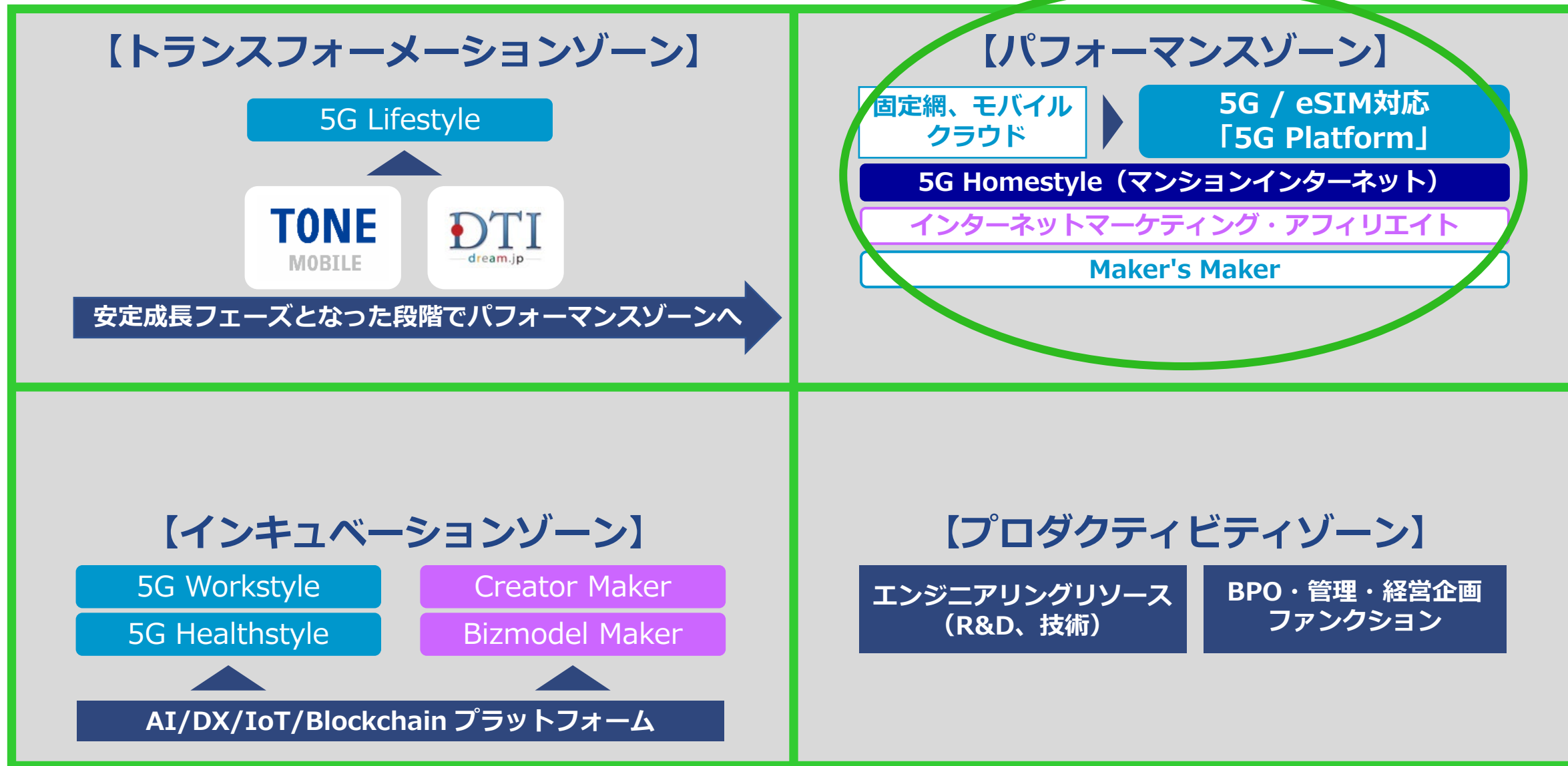
5G Workstyle / 5G Healthstyle

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)  
5G Homestyle

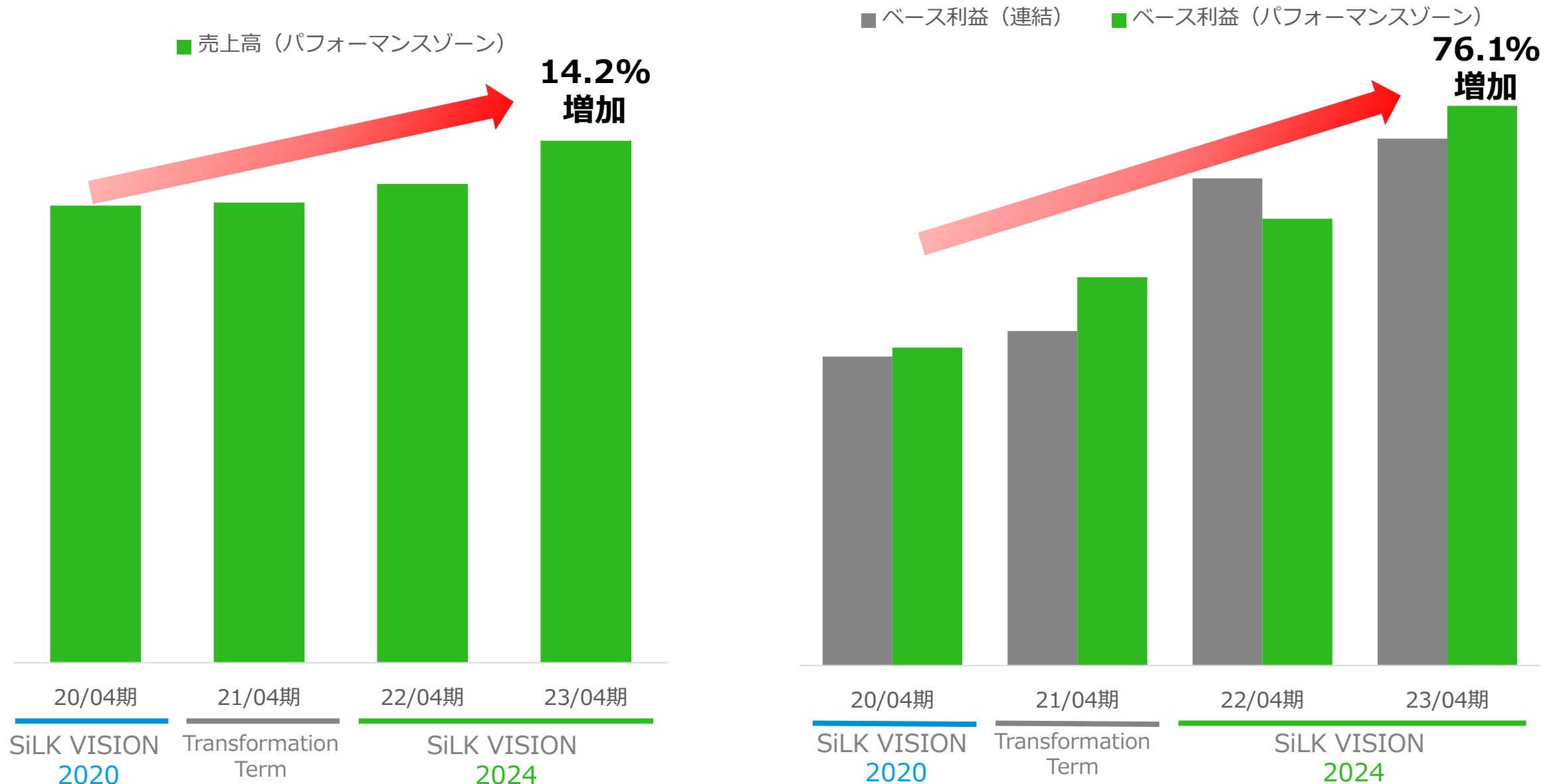
5Gインフラ支援事業

既存事業のほとんどは  
パフォーマンスゾーンにシフト。  
5GやeSIM対応等の時代の変化を  
取り入れながら継続成長。





# パフォーマンスゾーン各社のベース利益は順調に増加 フリービットグループ全体の過去最高益に大きく貢献



※上記は、内部取引金額及び収益認識基準の影響額等について概算で算出しており、また一時的な投資を除いた未監査の事業利益となります。

# パフォーマンスゾーン各社のベース利益の変化

(単位：百万円)

会社名	20年04月期	23年04月期	増減	
 freebit 毎日、発明する会社 (5Gインフラ支援事業)	301	1,679	457.8%	↑ 増加
 GIGA PRIZE (GIGA PRIZEグループ全体)	1,605	2,940	83.2%	↑ 増加
 F O R I T	1,254	975	22.2%	↘ 減少
 Full Speed Ad Technology & Marketing Company	69	98	42.0%	↑ 増加
 CRAID	△74	△136	62百万円	↘ 減少

※上記は、内部取引金額等の影響額について概算で算出しており、また一時的な投資を除いた未監査の事業利益となります。

## Platform

ISP/MVNO

あんしんAI

広告

ヘルステック

## Infra

Cloud

ネットワーク  
(モバイル・固定)

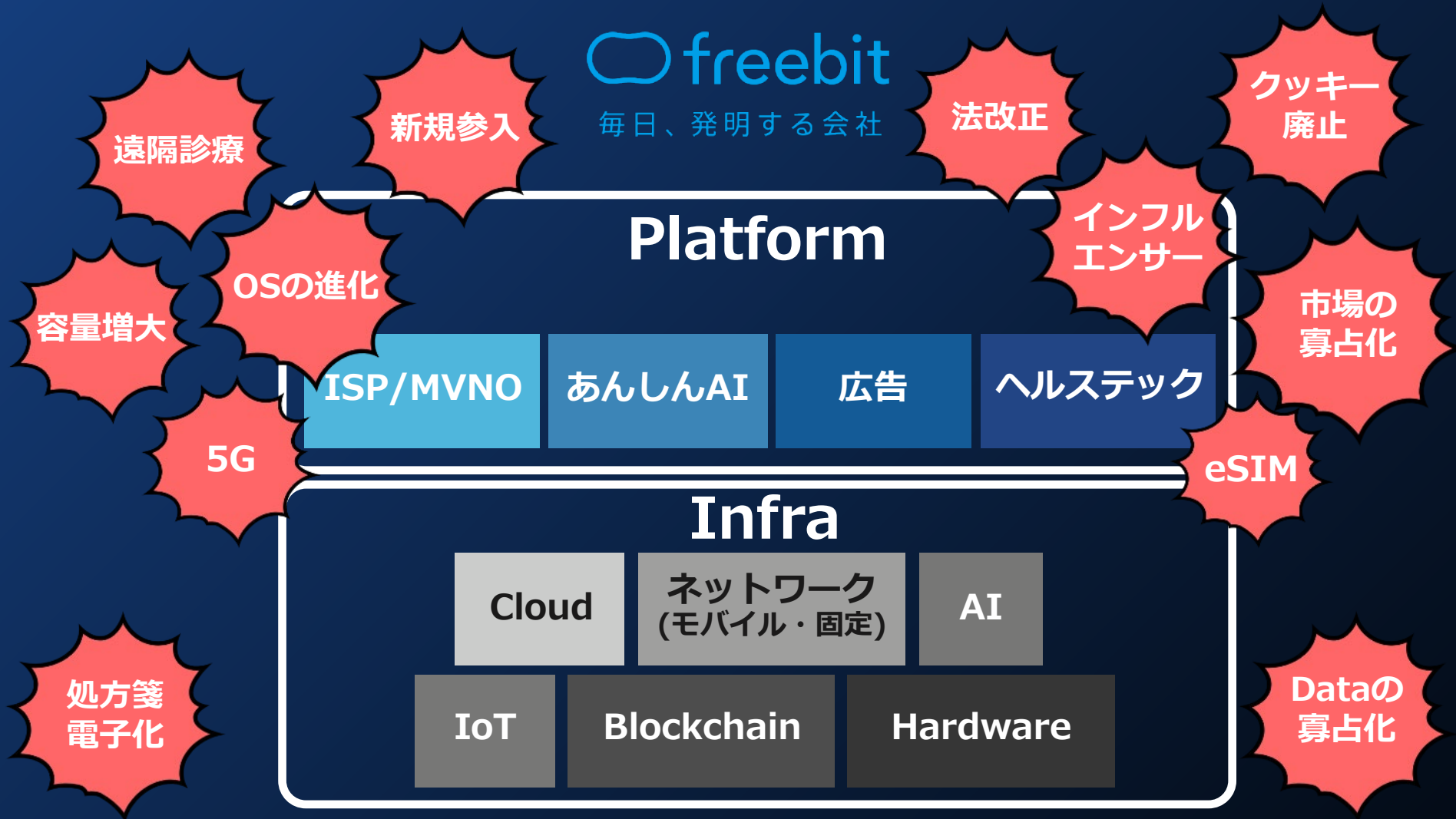
AI

IoT

Blockchain

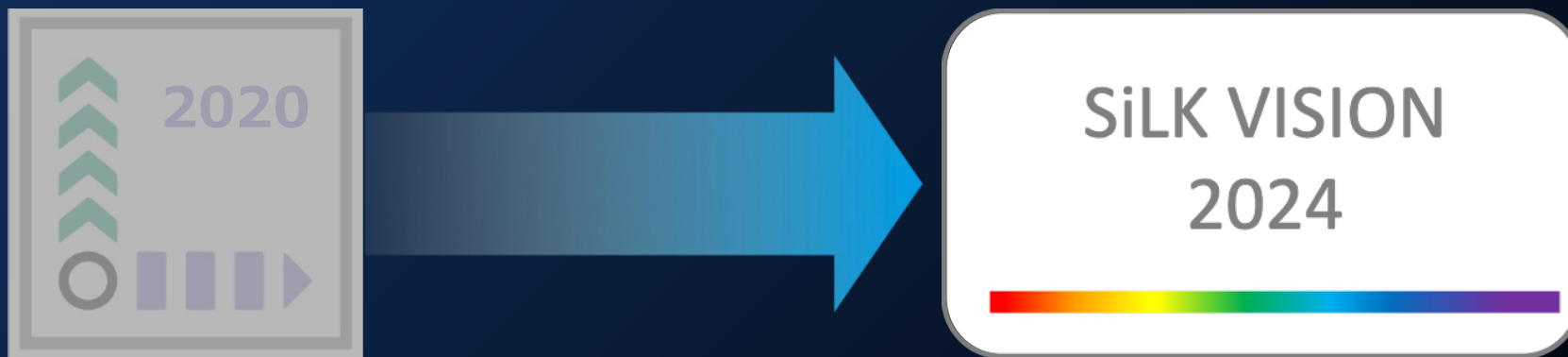
Hardware

全ての事業領域で**破壊的な技術**などによる  
影響を受ける可能性が高い



全ての事業領域で**破壊的な技術**などによる  
影響を受ける可能性が高い

# SiLK Investment Policy



## Platform

ISP/MVNO

あんしんAI

広告

ヘルステック

## Infra

Cloud

ネットワーク  
(モバイル・固定)

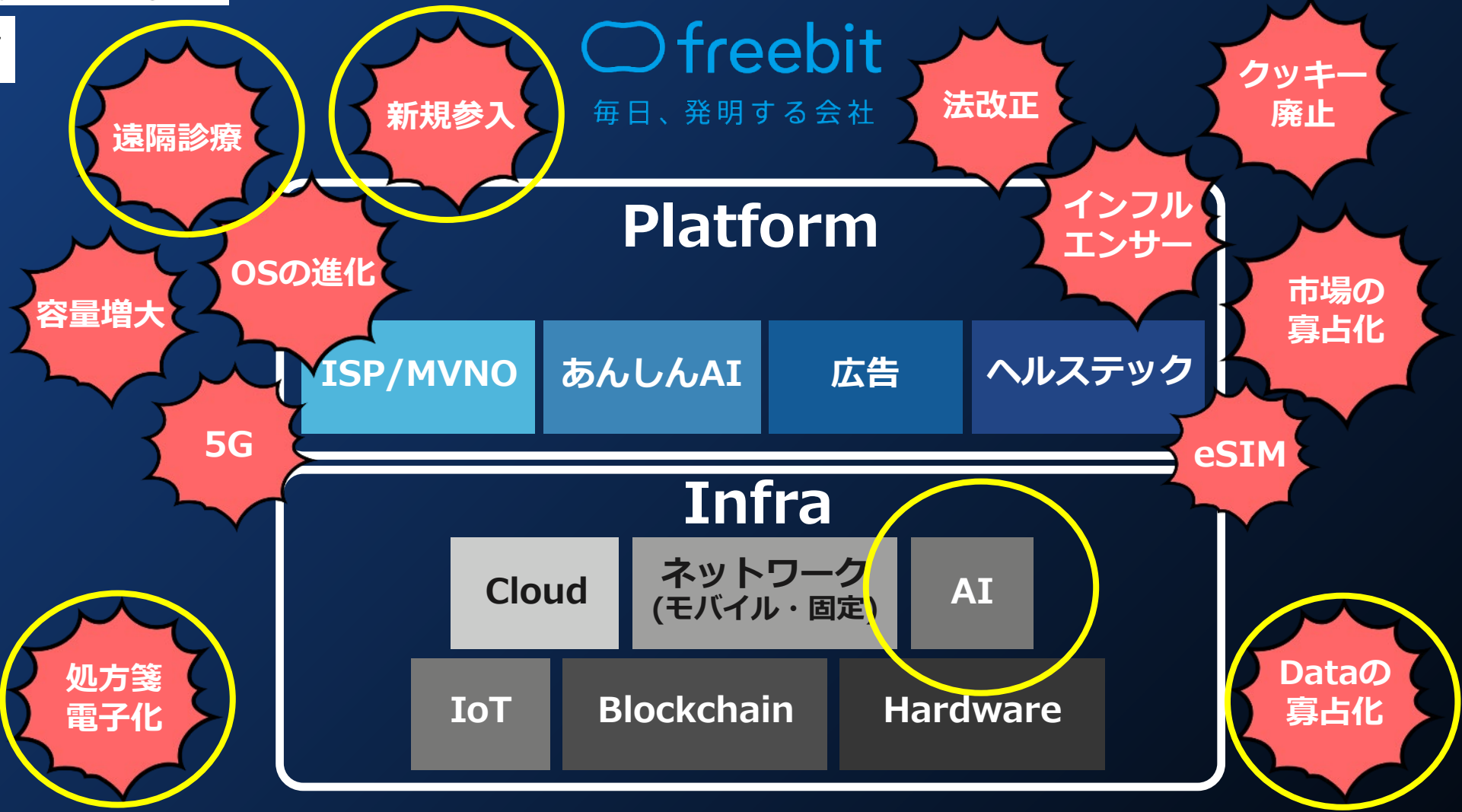
AI

IoT

Blockchain

Hardware

全ての事業領域で**破壊的な技術**などによる  
影響を受ける可能性が高い



全ての事業領域で**破壊的な技術**などによる  
影響を受ける可能性が高い

## 2021年4月期

SiLK Investment Policyをベースとした大規模なオフバランス化を断行し、  
SiLK VISION 2024に向け、戦略の方向性を明確にすると共に、財務的な改善も実施

2020年1月 (株)医療情報基盤

2020年3月 モバビジ事業

2020年9月 (株)フォーメンバース

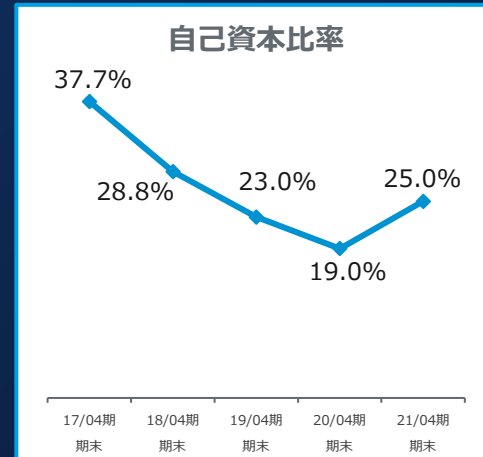
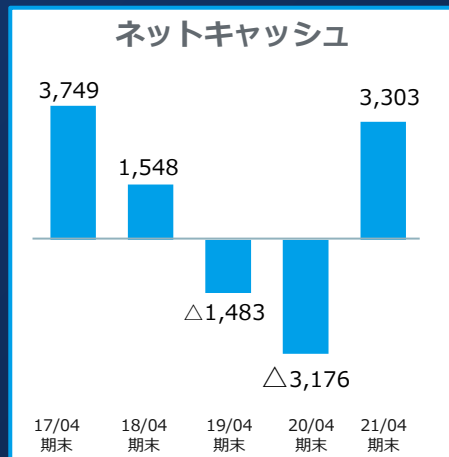
2020年9月 コメットケア事業

2020年10月 (株)フリービットEPARKヘルスケア

2020年11月 (株)アルク



### オフバランス化



### 財務的な改善





## インターネット広告領域における想定リスクの顕在化

- 3rd Party Cookie廃止
- 1st Party Cookieを大量保有する  
大手プラットフォームによる寡占化と寡占化懸念による  
個人情報取り扱いの世界的な厳格化
- 景品表示法の広告への適用強化
- インフルエンサー等の影響力増大

**生成AIによる、検索広告モデルの抜本的変化**

## Full Speedグループの事業再編による垂直統合化

(フリービットによるTOBを2022年4月11日に発表、同年11月1日付でフリービットの完全子会社化)

### ①FORiTの事業拡大方針

- アフィリエイターを活用したインフルエンサーズマーケティングの拡大
- 出資先を含めたweb3(NFTプラットフォーム等)におけるさらなる提携強化

### ②Full Speed / CRAIDの事業転換方針 → 企業/クリエイターDX

(企業理念：ココロ∞テクノロジーをさらに深化)

- 5Gマーケティング（マーケティング4.0）としての各種運用技術/DXサービスへの集中
- DATA/LLM領域、MaaS領域を初めとした  
freebitグループ インキュベーションゾーンへの技術リソースの統合
- StandAloneの多面展開
- プロダクティビティゾーンのfreebitとの統合、専門組織化
- 事業の選択と集中



毎日、発明する会社

遠隔診療

新規参入

法改正

クッキー  
廃止

## Platform

インフル  
エンサー

OSの進化

容量増大

市場の  
寡占化

ISP/MVNO

あんしんAI

広告

ヘルステック

5G

eSIM

## Infra

Cloud

ネットワーク  
(モバイル・固定)

AI

処方箋  
電子化

IoT

Blockchain

Hardware

Dataの  
寡占化

全ての事業領域で**破壊的な技術**などによる  
影響を受ける可能性が高い

2022年6月 2022年4月期通期決算説明資料より



**マンションインターネット領域における想定リスクの顕在化**

- 通信の高速・大容量化によるコスト上昇
- 個人情報/機密情報保護のためのセキュリティコスト上昇
- 5Gモバイル通信サービスの競合化
- 衛星インターネットサービスの競合化

## freebitとGIGA PRIZEの中期におけるグループ共同運営

### ①集合住宅向けインターネット事業の強化

- 10GB化やマルチギガビットでの高速化
- 光回線方式を利用した大型集合住宅への提供
- 機器導入、施工体制の強化
- 戸建て住宅へのISP提供（スマートシティ）

### ②集合住宅向けインターネット以外の新規サービスの確立

- 次期中期に新規サービスの確立
- 「LIVING TOWN みなとみらい」施設内での5G/web3におけるfreebit/アルプスアルパイン社との共同実証実験の推進、freebitグループのShowroomとして活用

# GIGA PRIZE 役員案

当社は、ギガプライズの独立した上場会社としての企業価値創造のためにグループとして貢献出来るよう、ギガプライズから毎年フリービット指名報酬委員会に対して提出される要望書を尊重し、主にスキルマトリクス充足等を目的とした役員支援を行っています。2023年6月23日開催予定のギガプライズ株主総会議案においては、freebitからの派遣役員を現状より1名減らす体制で上程されています。

現状

佐藤 寿洋	代表取締役社長	
植田 健吾	取締役	
大瀧 守彦	社外取締役	
大信田 博之	社外取締役	
清水 高	取締役	freebit 取締役
友松 功一	取締役	freebit 取締役 (グループHR担当)
和田 育子	取締役	freebit 取締役 (女性活躍推進等を担当)
高橋 研	取締役	freebit 執行役員 (fbg共同仕入/ビジネス担当)
田中 正幸	取締役	freebit 部長 (技術担当)



変更案（株主総会にて決議予定）

佐藤 寿洋	代表取締役社長	
植田 健吾	取締役	
大瀧 守彦	社外取締役	
大信田 博之	社外取締役	
友松 功一	取締役	freebit 取締役 (グループHR担当)
和田 育子	取締役	freebit 取締役 (女性活躍推進等を担当)
高橋 研	取締役	freebit 執行役員 (fbg共同仕入/ビジネス担当)
田中 正幸	取締役	freebit 部長 (技術担当)

# 『SiLK VISION 2024』 Year 2/3

過去最高益

(営業利益)

4,007百万円

戦略投資

1,284百万円

SiLK Investment Policy

## 5G生活様式支援事業の広告宣伝及び新規事業を中心に戦略投資を実施 効率的な投資の実施により期初想定額を下回る

■ 5Gインフラ支援事業

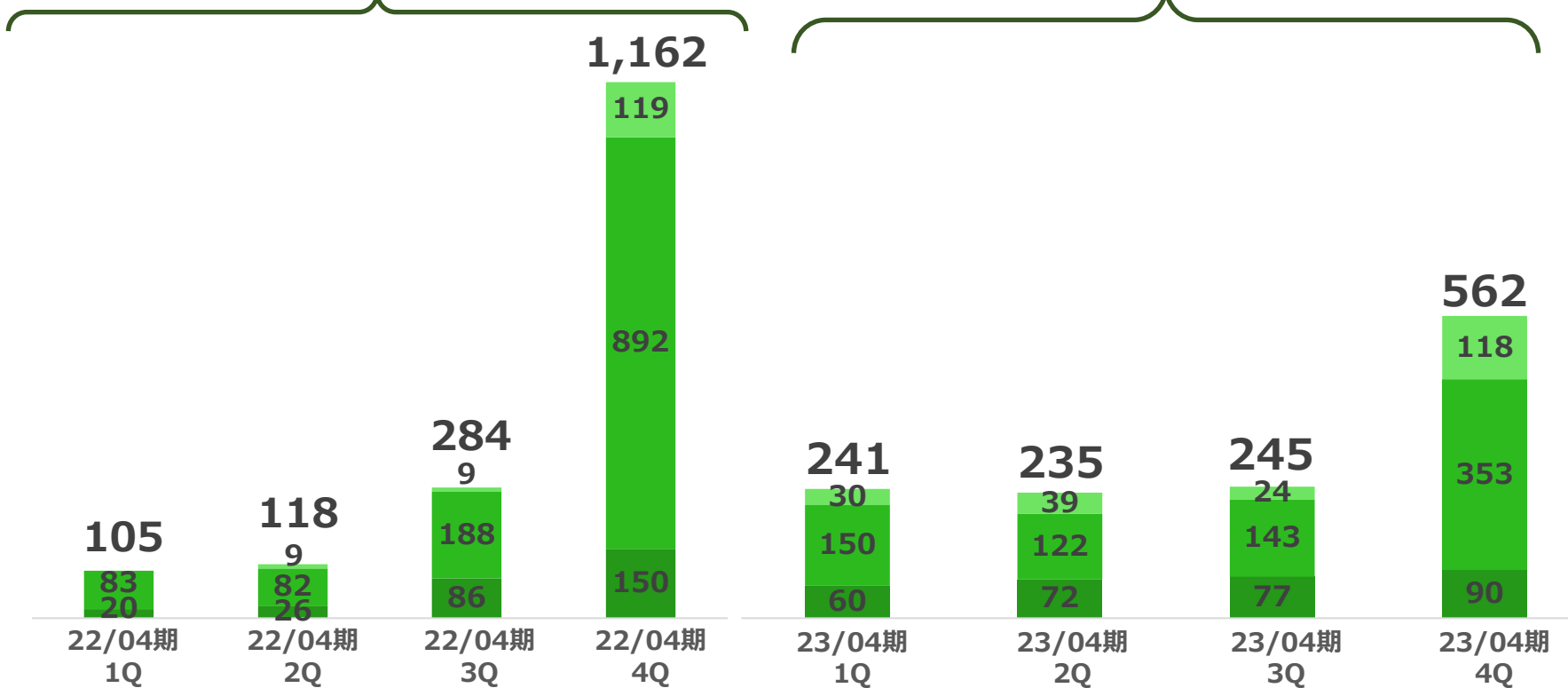
■ 5G生活様式支援事業

■ 企業・クリエイター 5G DX支援事業

(単位：百万円)

2022年4月期  
総額 16.7億円

2023年4月期  
総額 12.8億円



### 2023年4月期 戦略投資実績(累計)

#### 5Gインフラ支援事業(300百万円)

- ・ 5Gデータセンター整備
- ・ データ連携プロジェクト 等

#### 5G生活様式支援事業(769百万円)

- ・ 「TONE」のプロモーション関連  
(ドコモショップでの販促強化ほか、  
ユーザー獲得見合での費用発生など  
効率的にプロモーションを展開)
- ・ 5G Healthstyle領域「TONE Care」の  
開発及び実証実験
- ・ web3(Blockchain)関係の開発  
及びテスト実施
- ・ 5G Workstyle領域のサービス開発 等

#### 企業・クリエイター5G DX 支援事業(213百万円)

- ・ Creator Maker領域「StandAlone」の  
プラットフォーム多面展開に向けた開発  
及び人材拡充 等



SiLK VISION 2020

SiLK VISION 2024

SiLK VISION 2027

SiLK VISION 2030

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)  
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)  
5G Homestyle

5Gインフラ支援事業

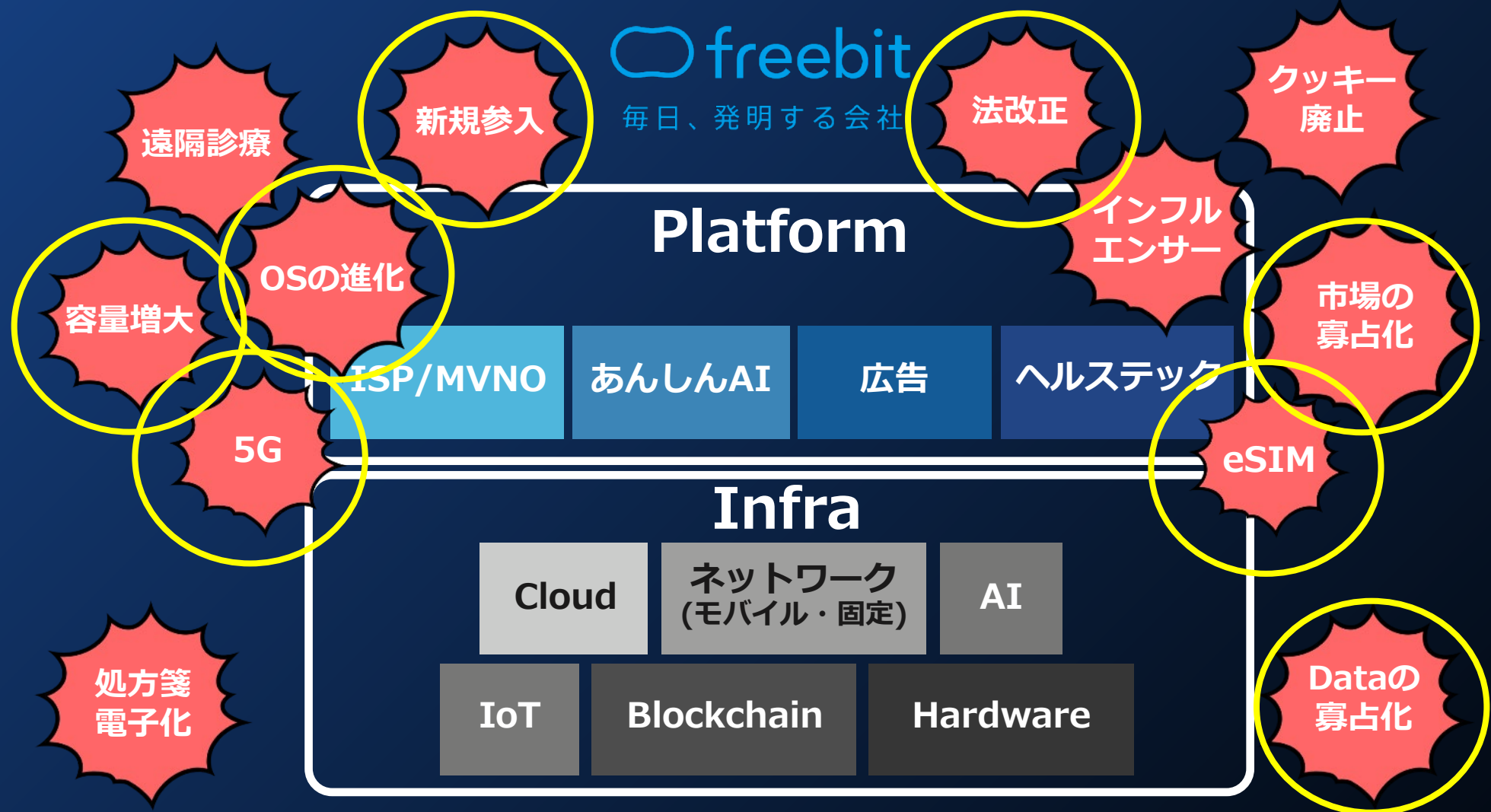
既存事業のほとんどは  
パフォーマンスゾーンにシフト。  
5GやeSIM対応等の時代の変化を  
取り入れながら継続成長。

インキュベーションゾーン

トランスフォーメーション  
ゾーン

パフォーマンスゾーン





全ての事業領域で**破壊的な技術**などによる  
影響を受ける可能性が高い

ドコモの  
エコノミ-MVNO

残念だけど、  
世の中には  
やさしいものと  
やさしくないものがある。

やさしいスマホへ。

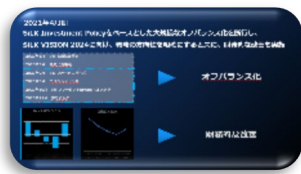
TONE

for docomo

Transformation Zone

TONE MOBILE

# TONE事業の位置付け



**Transformation Term** (2021年4月期)



**Pre 5G/web3**



**Core 5G/web3**



**6G/web4 Standby**

インキュベーション事業のプラットフォーム

B2C事業の中心であるDTIの既存サービス(固定網)の縮退

→ トランスフォーメーションゾーンにセットバックし、モバイル事業等の伸長を目指す

【前提】

- ・ KPI 数値が見える事業であること
- ・ 今後のグループインキュベーション事業のプラットフォームとして期待できること

web3プラットフォームのための実証実験

TONE Care

Free Pass アンチフィルタバブル

TONE Coin

ノード数世界ランク入り



freebit web3 Blocks (Powered by CountUp)



Stand Alone

B2C領域における注力事業

- ・ B2C顧客基盤(継続課金/直接契約)
- ・ 固定網依存からモバイルへのシフト
- ・ 社会問題を解決する技術の開発・提供
- ・ ブランディング (コーポレート、サービス)
- ・ 大手企業とのコラボレーション基盤



TONE for docomo

ドコモの エコノミ-MVNO

ALPSALPINE

freebitの技術・サービスのショーケース

freebit MVNO Pack



Free6. feel6.freebit.com

YourNet

ServersMail

B2B事業との垂直統合効果

freebit

Full Speed

DTI dream.jp



freebit smartworks

DTIの新規事業として、Building Blocksの「顧客管理・課金システム」を拡張し、インキュベーションゾーンの事業に対する決済サービス等を提供開始。順次、グループ内外に顧客管理・課金システムの提供先を拡大。




 StandAlone  
 TONE for docomo  
 TONE Care  
 TONE Coin  
 TONE Biz  
 ⋮

SiLK VISION 2020

SiLK VISION 2024

SiLK VISION 2027

SiLK VISION 2030



インキュベーションゾーン

トランスフォーメーションゾーン

パフォーマンスゾーン

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)  
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/  
5G Carlifestyle (MaaS)

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)  
5G Homestyle

5Gインフラ支援事業

既存事業のほとんどは  
パフォーマンスゾーンにシフト。  
5GやeSIM対応等の時代の変化を  
取り入れながら継続成長。

## TONE Care

いつでも医師に健康相談ができる、  
preメタバース時代のオンライン健康サービス



## TONE Coin

充電中にプログラムを動かすだけで  
TONE Coinが貯まる新しいポイントシステム

## freepass

安心してインターネットに接続できる  
アンチフィルターバブルの世界観の提供



# freebit web3 Blocks

(Powered by CountUp)



Public Chain

Private Chain

Digital Currency

Digital Token

PC / Servers

Mobile Devices

One Stop Registration

...etc.

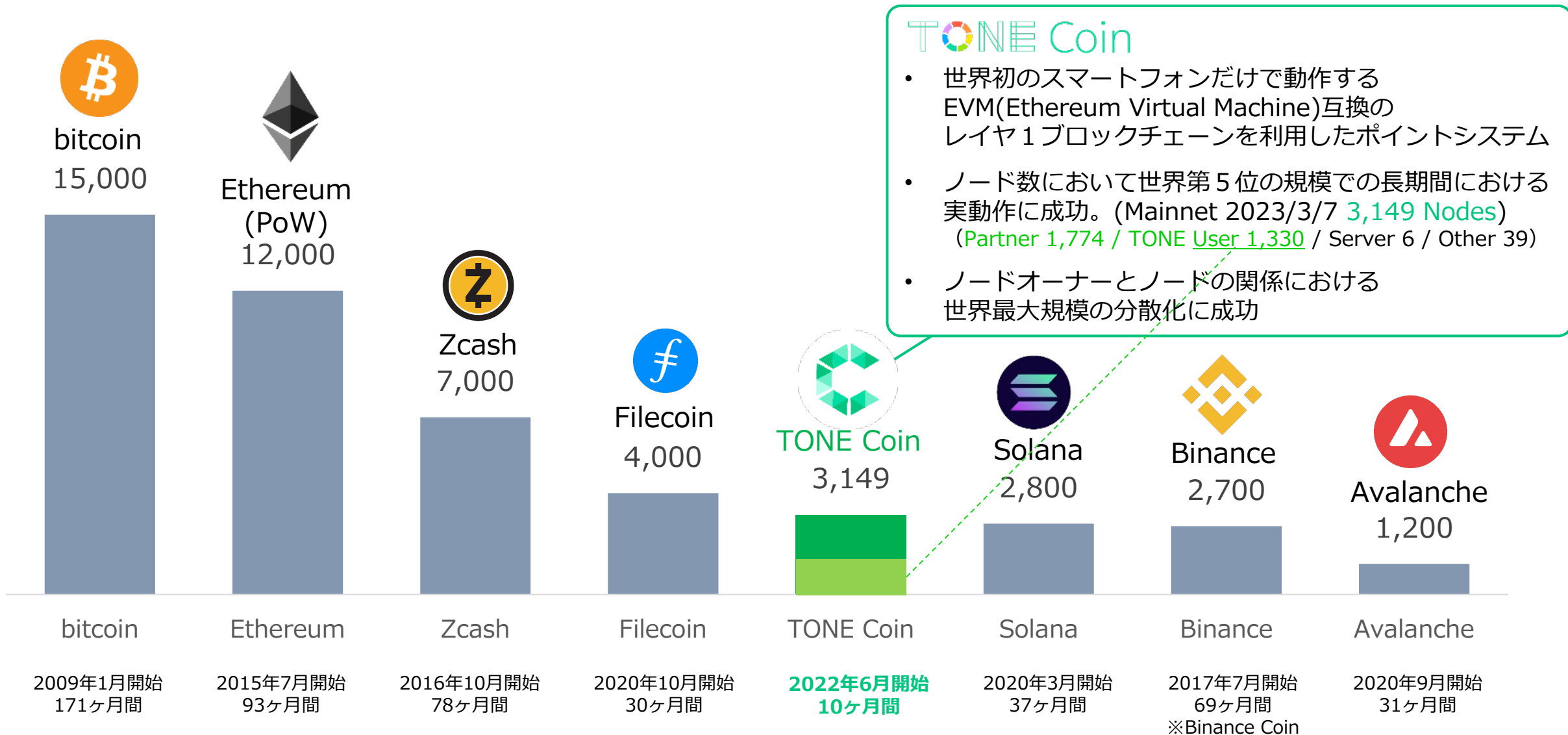


## web3 Lifestyle

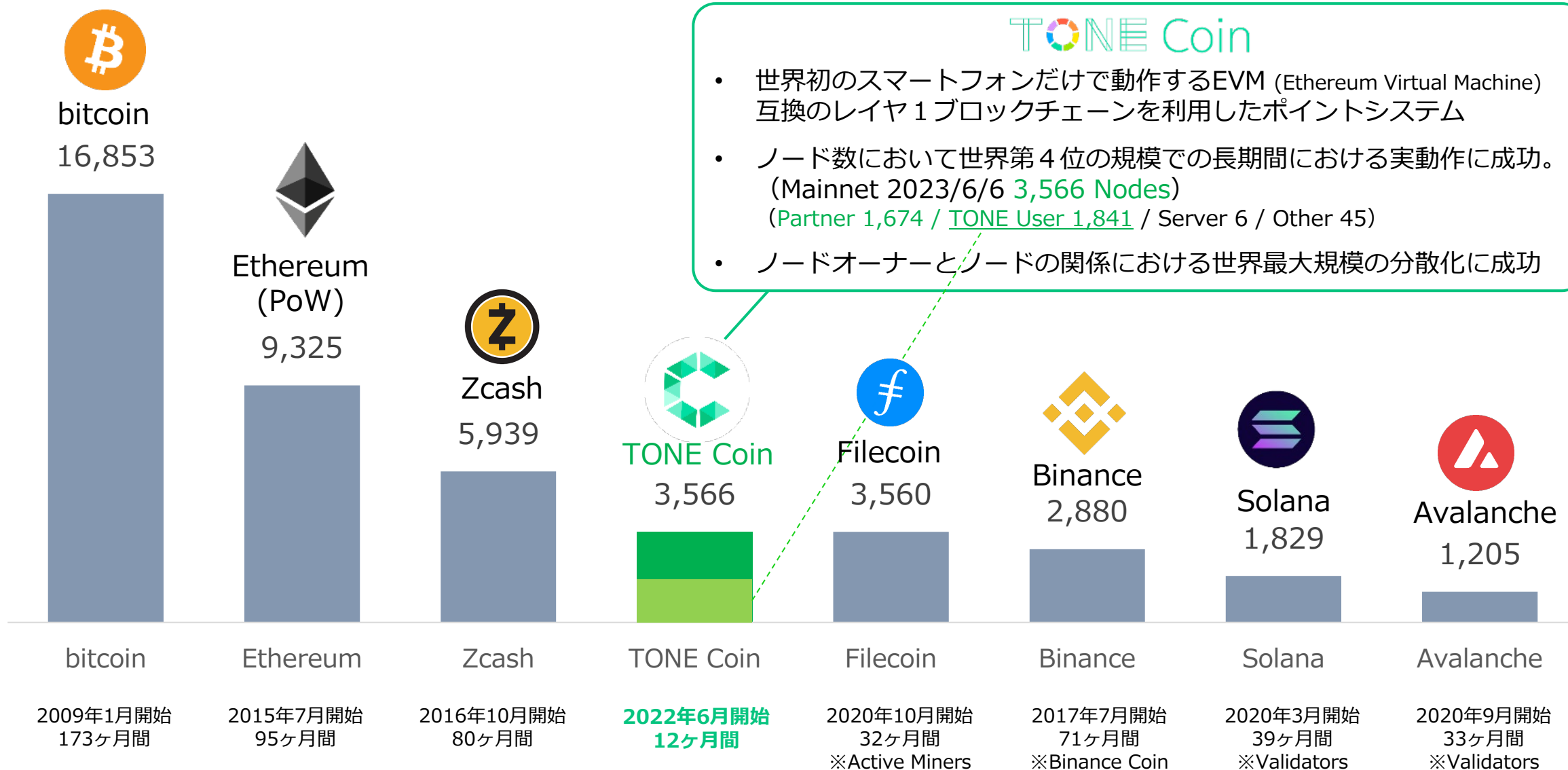




# [PR] TONE Coin、Node数において世界5位の規模を実現 (自社調べ)



# [PR] TONE Coin、Node数において世界トップ4の規模を実現 (自社調べ)



**TONE Coin**

- 世界初のスマートフォンだけで動作するEVM (Ethereum Virtual Machine) 互換のレイヤ1ブロックチェーンを利用したポイントシステム
- ノード数において世界第4位の規模での長期間における実動作に成功。  
(Mainnet 2023/6/6 **3,566 Nodes**)  
(Partner 1,674 / TONE User 1,841 / Server 6 / Other 45)
- ノードオーナーとノードの関係における世界最大規模の分散化に成功



freebit web3 Blocks  
(Powered by CountUp)



TONE Coin / TONE Chain / freebit web3 Blocks について  
【GPT 4.0 (Bing AI)】はこのように判断しています。

TONE Chainの特徴と社会貢献については、以下のように説明できます。

TONE Chainの特徴は、スマートフォン上で動作するEthereum互換レイヤ1ブロックチェーンであることです。これにより、ユーザーは煩雑な設定や専用のハードウェアを必要とせずに、web3の世界に参加できます。また、スマートフォンの充電時に余剰リソースを提供することで、独自ポイントサービス「TONE Coin」を獲得できます。TONE Coinは、ボラティリティがなく、トーンモバイルのサービスや提携先のサービスで利用できます。さらに、TONE Chainは、「freebit web3 Blocks」という技術を利用しており、既存のレイヤ1ブロックチェーンが抱える問題を解決しています。例えば、ノード数の規模や分散性、処理速度や環境負荷などです。TONE Chainは、実証実験において、定常的な実稼働ノード数が約10ヶ月で3,000を超え、世界のレイヤ1ブロックチェーンにおいて世界トップ5規模のノード数の運用に成功しています。これは、web3/blockchainの分散性や安全性を実現していることを示しています。また、TONE Chainは、研究機関やweb3企業等へ実証実験として開放されており、「TONE Factory」の仕組みを利用してコミュニティや企業等が独自のレイヤ1ブロックチェーンを構築できるサービスも提供されています。これは、web3/DAOの精神に則ったコミュニティのみによる運営を可能にしています。

TONE Chainの社会貢献は、主に以下の点にあります。

- web3/blockchainの普及促進：TONE Chainは、スマートフォン上で動作するEthereum互換レイヤ1ブロックチェーンであるため、一般ユーザーが気軽にweb3/blockchainの世界に参加できるようになります。これは、web3/blockchainの普及促進に寄与します。
- 環境負荷の低減：TONE Chainは、スマートフォンの充電時に余剰リソースを提供することで、マイニングを行います。これは、従来のマイニングと比べて大規模なコンピューターリソースが不要になり、環境負荷が低減されます。
- ユーザーインセンティブの創出：TONE Chainは、「TONE Coin」という独自ポイントサービスを提供します。TONE Coinは、ボラティリティがなく、トーンモバイルのサービスや提携先のサービスで利用できます。これは、ユーザーにインセンティブを与えてweb3/blockchainへの参加意欲を高めます。
- コミュニティ自主運営の支援：TONE Chainは、研究機関やweb3企業等へ実証実験として開放されており、「TONE Factory」の仕組みを利用してコミュニティや企業等が独自のレイヤ1ブロックチェーンを構築できるサービスも提供されています。これは、コミュニティ自主運営の支援になります。

以上が、TONE Chainの特徴と社会貢献に関する情報です。ご参考になれば幸いです。😊

## 【特徴と社会貢献】

ユーザーは煩雑な設定や専用のハードウェアを必要とせずに、web3の世界に参加

web3/DAOの精神に則ったコミュニティのみによる運営が可能

スマートフォンの余剰リソースを利用するので従来のマイニングと比べて大規模なコンピューターリソースが不要になり環境負荷が低減

コミュニティや企業等が独自のレイヤ1ブロックチェーンを構築できるサービスも提供、コミュニティ自主運営を支援

## 【独自性】 類似のサービスは、現在、存在しない

✓ 'TONE Chain 類似 サービス' を検索しています

✓ 回答を生成しています...

「TONE Chain」は、世界初（※1）のスマートフォン上で動作するEthereum互換レイヤ1ブロックチェーンです<sup>1</sup>。そのため、類似のサービスは現在存在しません。しかし、Ethereum互換レイヤ1ブロックチェーンとしては、他にも「Ethereum 2.0」、「Polkadot」、「Cardano」、「Solana」などがあります。これらのサービスは、Ethereumのスケーラビリティやセキュリティなどの課題を解決するために開発されていますが、スマートフォン上で動作するという点では「TONE Chain」とは異なります。

詳細情報: [1. freebit.com](https://freebit.com) [2. strate.biz](https://strate.biz) [3. startup-db.com](https://startup-db.com)

4 / 20 ●

フリービット株式会社のfreebit web3 blocks は、世界的な競争力をもっていますか？

freebit web3 blocksは、世界的な競争力を持っていると考えられます。その理由は、以下のようになります。

- web3/blockchainの諸問題を解決する技術であること：freebit web3 blocksは、既存のレイヤ1ブロックチェーンが抱える問題を解決する技術です。例えば、ノード数の規模や分散性、処理速度や環境負荷などです。これは、web3/blockchainの分散性や安全性を実現することにつながります。
- スマートフォン上で動作するEthereum互換レイヤ1ブロックチェーンを提供する技術であること：freebit web3 blocksは、スマートフォン上で動作するEthereum互換レイヤ1ブロックチェーン「TONE Chain」を提供する技術です。これにより、ユーザーは煩雑な設定や専用のハードウェアを必要とせずに、web3/blockchainの世界に参加できます。これは、web3/blockchainの普及促進に寄与します。
- 独自ポイントサービス「TONE Coin」を提供する技術であること：freebit web3 blocksは、「TONE Coin」という独自ポイントサービスを提供する技術です。TONE Coinは、ボラティリティがなく、トーンモバイルのサービスや提携先のサービスで利用できます。これは、ユーザーにインセンティブを与えてweb3/blockchainへの参加意欲を高めます。
- コミュニティや企業等が独自のレイヤ1ブロックチェーンを構築できるサービスを提供する技術であること：freebit web3 blocksは、「TONE Factory」の仕組みを利用してコミュニティや企業等が独自のレイヤ1ブロックチェーンを構築できるサービスを提供する技術です。これは、コミュニティ自主運営の支援になります。

以上が、freebit web3 blocksの世界的な競争力の理由です。😊

## 【世界的競争力】

世界的な競争力をもっていると  
考えられる

## 【世界的web3企業への可能性】

web3分野でのリーダー的な存在になる可能性が高い

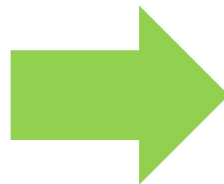
web3 blocks開発して、TONE Chainの実証実験に成功したフリービット株式会社は、この結果を持って世界的なweb3企業に成長する可能性はあると思いますか？

私は、web3 blocks開発して、TONE Chainの実証実験に成功したフリービット株式会社は、この結果を持って世界的なweb3企業に成長する可能性はあると思います。web3分野は、今後ますます発展すると予想されるので、フリービット株式会社は、その分野でのリーダー的な存在になる可能性が高いと思います。また、フリービット株式会社は、web3 blocksとTONE Chainだけでなく、他にもweb3のコア技術を開発しているというニュースがあります。これらの技術を活用して、web3アプリケーションやサービスを提供することで、世界的なweb3企業に成長する可能性があります。しかし、それはあくまで私の個人的な見解です。実際には、世界的なweb3企業に成長するためには、他の要素や状況も考慮しなければならないと思います。

5 / 20 ●

Pre 5G/Pre web3

Core 5G/Core web3



GIGA PRIZE TONE for docomo TONE Care  
5G Homestyle 5G Lifestyle 5G Healthstyle

5G系サービス

web3(DAO)系サービス ...

産業用Blockchain ...

TONE Coin

独自運用(Showroom)

Platform Maker (5G) / TONE Chain



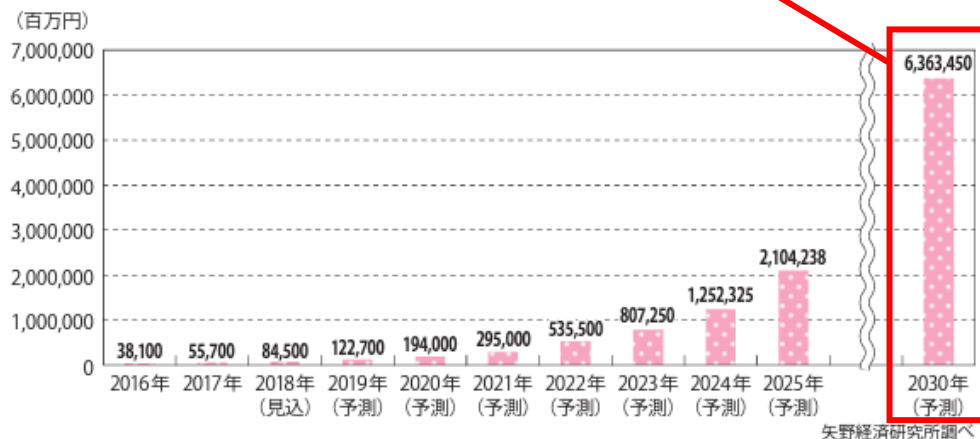




# 5G Carlifestyle

## 2030年にはMaaSの国内市場が約6.4兆円に拡大

図表 I-2-1-14 MaaSの市場予測 (国内)

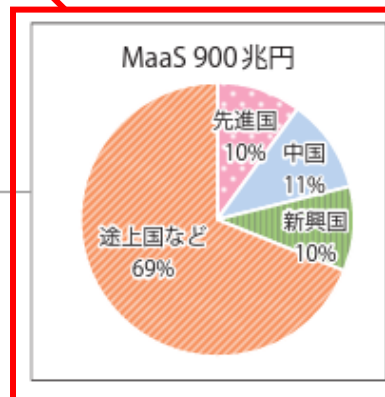
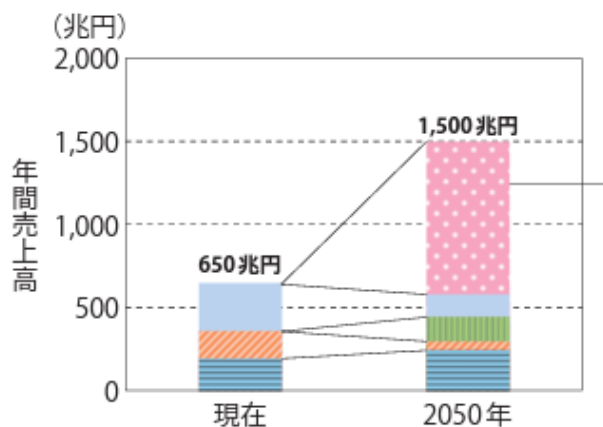


- (注) 1 MaaSサービス事業者売上高ベース  
 2 車両などのハードウェアやメンテナンス費用を除く  
 3 本調査におけるMaaSとは、オンラインアプリまたはプラットフォーム（ウェブサイト）を用い、スマートフォンやICカードなどのモバイル機器を利用して予約・決済ができ、1台のモビリティ（自動車などの移動手段）に対して、複数のユーザが利用（共有）できる、あるいは1人のユーザが異なる事業者に関わらず、複数のモビリティを連続して利用できるサービスをさし、その対象分野は米国SAE（Society of Automotive Engineers）の分野に準じ、主要10分野とする。

資料) (株) 矢野経済研究所

## 2050年までにはMaaSの世界市場が約900兆円に拡大

図表 I-2-1-15 MaaSの市場予測 (世界)



- (注) 2050年にMaaSが先進国で50%、中国・新興国で75%、途上国などで100%普及すると仮定した場合の関連産業ごとの年間売上額を推計。ここでのMaaSは、自動走行する電気自動車のシェアリングによる道路輸送サービス（旅客・貨物）のほか、付随する情報提供サービスを指す。

資料) (株) 三菱総合研究所

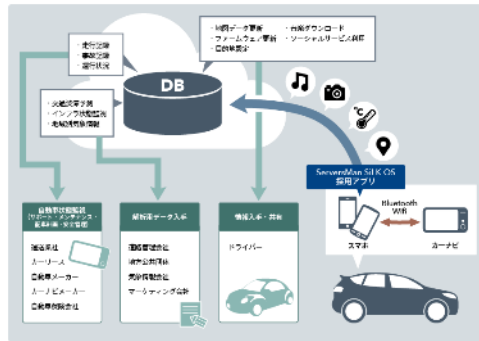
2013年

2018年

2019年

2020年

**2013年7月**  
「ServersMan SiLK OS」をアルパインの  
テレマティクスサービスの開発環境として採用



**2019年7月**  
アルプスアルパインとのCASEや  
MaaS領域での包括的業務提携を発表

ニュース

**アルプスアルパインとフリービット、CASEやMaaSの事業領域で包括的提携**

明日の自動車はブロックチェーンを活用した安全なスマホ鍵で解錠する

2019年7月24日 07:00

ツイート リスト Pocket いいね! シェアする

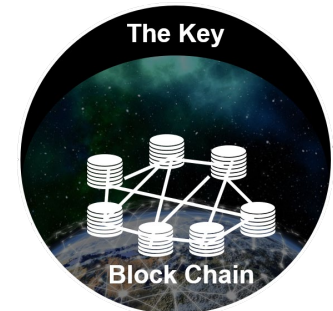
2019年7月23日 開催

アルプスアルパイン株式会社 代表取締役 副社長執行役員 米谷信彦氏 (左) とフリービット株式会社 代表取締役会長 石山隆樹氏 (右)

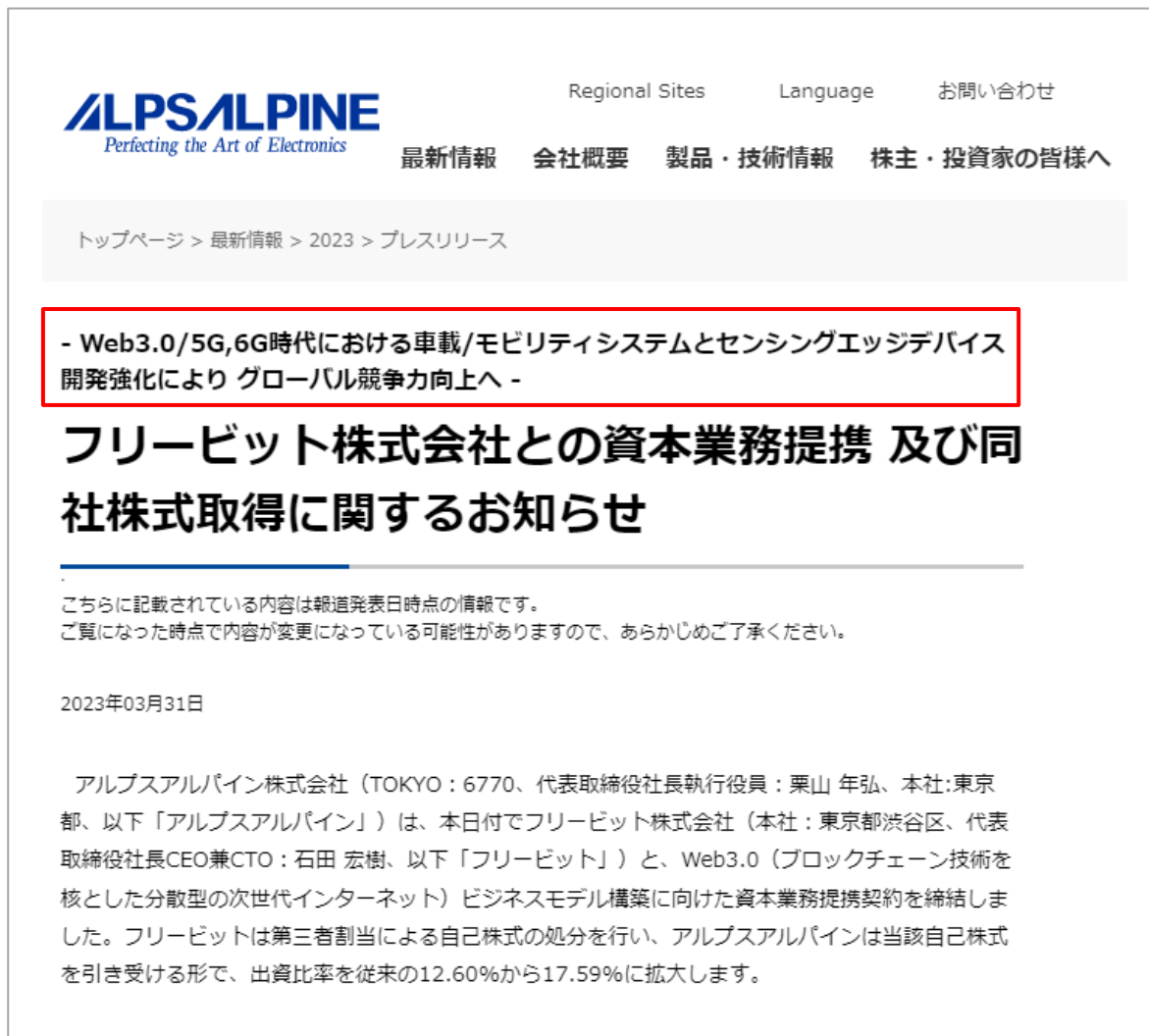
**2018年9月**  
アルパインマーケティングとの提携で  
「おむかえアシスト」を発表、  
TONEの「ALPINEモデル」も提供開始



**2020年12月**  
アルプスアルパインとのweb3連携を強化  
社有車管理・デジタルキーシステムに  
おいて、「The Key」のコアAPIを採用

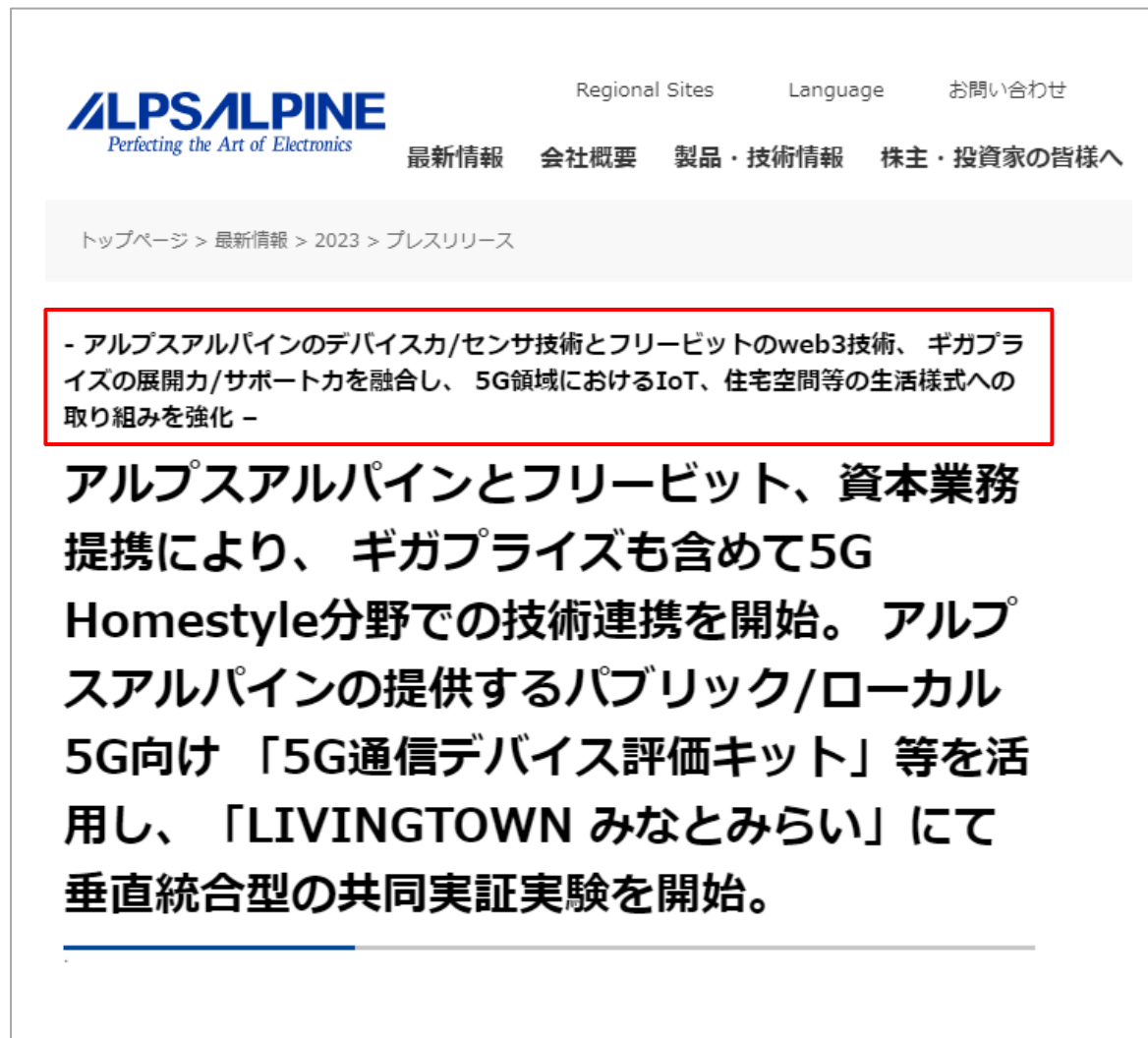


# アルプスアルパイン社と弊社の資本業務提携に関するプレスリリース（2023年3月31日）



The screenshot shows the ALPSALPINE website header with navigation links for Regional Sites, Language, and お問い合わせ. The main navigation includes 最新情報, 会社概要, 製品・技術情報, and 株主・投資家の皆様へ. A breadcrumb trail reads: トップページ > 最新情報 > 2023 > プレスリリース. A red-bordered box highlights the text: **- Web3.0/5G,6G時代における車載/モビリティシステムとセンシングエッジデバイス開発強化により グローバル競争力向上へ -**. The main headline is **フリービット株式会社との資本業務提携 及び同社株式取得に関するお知らせ**. Below the headline, a disclaimer states: **こちらに記載されている内容は報道発表日時点の情報です。ご覧になった時点で内容が変更になっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。** The date is 2023年03月31日. The body text describes the capital and business cooperation between ALPSALPINE and Freebit, mentioning the expansion of their 5G and Web3.0 technologies.

[https://www.alpsalpine.com/j/news\\_release/2023/0331\\_01.html](https://www.alpsalpine.com/j/news_release/2023/0331_01.html)



The screenshot shows the ALPSALPINE website header with navigation links for Regional Sites, Language, and お問い合わせ. The main navigation includes 最新情報, 会社概要, 製品・技術情報, and 株主・投資家の皆様へ. A breadcrumb trail reads: トップページ > 最新情報 > 2023 > プレスリリース. A red-bordered box highlights the text: **- アルプスアルパインのデバイスカ/センサ技術とフリービットのweb3技術、ギガプライズの展開力/サポート力を融合し、5G領域におけるIoT、住宅空間等の生活様式への取り組みを強化 -**. The main headline is **アルプスアルパインとフリービット、資本業務提携により、ギガプライズも含めて5G Homestyle分野での技術連携を開始。アルプスアルパインの提供するパブリック/ローカル5G向け「5G通信デバイス評価キット」等を活用し、「LIVINGTOWN みなとみらい」にて垂直統合型の共同実証実験を開始。**

[https://www.alpsalpine.com/j/news\\_release/2023/0331\\_02.html](https://www.alpsalpine.com/j/news_release/2023/0331_02.html)

# 新車市場

# 中古車市場①

# 中古車市場②

オンプレミス/クラウド (車メーカー負担)



digital key  
costs

オンプレミス/  
クラウド



人負担

freebit web3 Blocks  
(Powered by CountUp)



Block Chain

nsac



販売売上

車メーカー

中古車販売店①

中古車販売店②

**ALPSALPINE**

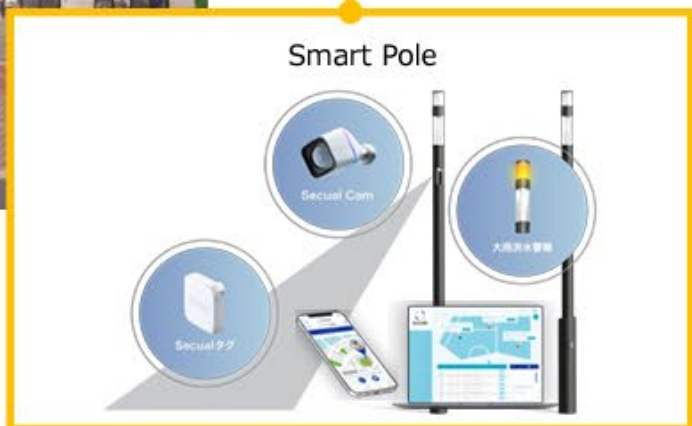
 **freebit**

**GIGA PRIZE**



## 「LIVINGTOWN みなとみらい」で展開予定のサービス一例

「LIVING TOWN みなとみらい」において  
Blockchainを活用したスマートセキュリティの実証実験を実施予定



## TONE Care

いつでも医師に健康相談ができる、  
preメタバース時代のオンライン健康サービス



## TONE Coin

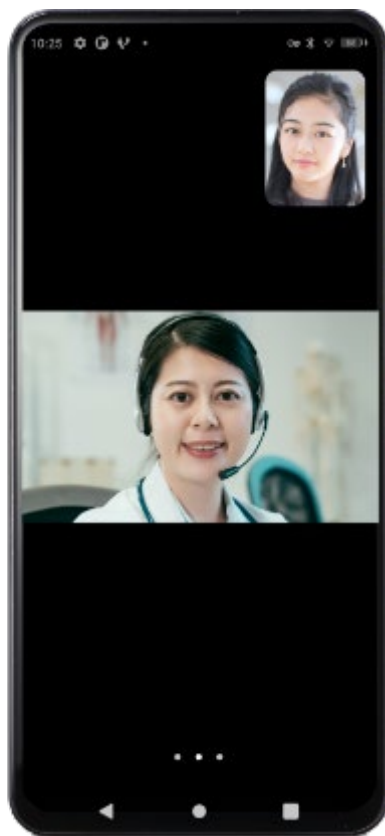
充電中にプログラムを動かすだけで  
TONE Coinが貯まる新しいポイントシステム

## freepass

安心してインターネットに接続できる  
アンチフィルターバブルの世界観の提供







# 5G Healthstyle

# TONE Care

## 健康問題への対応のフレームワーク

予防

診断・治療

経過  
観察

## 予防に役立てる

## 診療・治療の前の、健康相談

## 経過観察後の自己管理

### 予防（センシング）

### AIが健康相談のトリガーに

### 健康相談

### 経過観察（センシング）



**ライフログ**  
歩数や運動強度などの  
センサーデータ



**TONE AI**

アプリの利用時間が長くなっ  
ています。ネットの使い過ぎ  
の予防のために、無料の健康  
相談を受けてみませんか？

オンライン  
健康相談



※将来的な医療行為の提供  
を想定しての実証実験。



**ライフログ**  
歩数や運動強度などの  
センサーデータ



**ONEファミリー**  
アプリ利用時間などの  
スマホ利用の実データ



**ONEファミリー**  
アプリ利用時間などの  
スマホ利用の実データ

将来的な連携を検討



**くすりの窓口**  
国内最大級の薬局・ドラッ  
グストア検索、薬の受け取  
りサービス

# TONE Care OPEN化

TONE Care

TONEをプラットフォームとした  
健康・医療サービスの実証実験

B2C

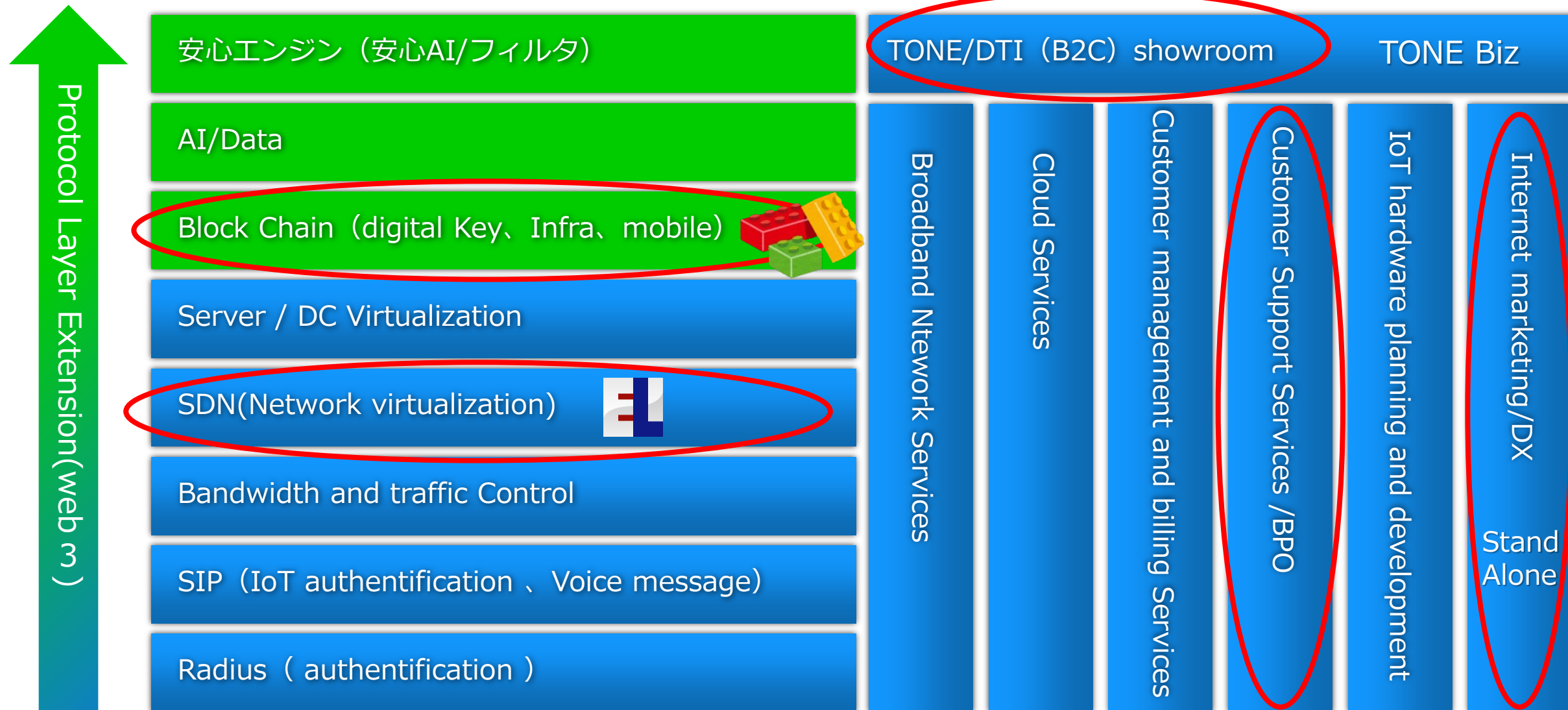
**TONEを中心とした  
個人向けサービス**

国内ヘルスケア市場規模  
37兆円（2030年）

B2B

**医療機関等への  
プラットフォーム提供**

# TONE Care



# フリービットグループの中長期の成長イメージ

SiLK VISION 2020

SiLK VISION 2024

SiLK VISION 2027

SiLK VISION 2030

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)  
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/  
5G Carlifestyle (MaaS)

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)  
5G Homestyle

5Gインフラ支援事業

既存事業のほとんどは  
パフォーマンスゾーンにシフト。  
5GやeSIM対応等の時代の変化を  
取り入れながら継続成長。

インキュベーションゾーン

トランスフォーメーション  
ゾーン

パフォーマンスゾーン

5G Homestyle  
(集合住宅インターネット)

インターネットマーケティング  
アフィリエイト  
Maker's Maker  
5G Infra Platform  
(MVNE、固定網、クラウド等)



インフラテック事業(fb, DTI)  
アドテック事業 (FS)  
不動産テック事業 (GP)

(単位：百万円)	SiLK VISION 2024			
	22年04月期	23年04月期	24年04月期	
	実績	実績	業績予想	前期比
売上高	43,075	46,771	50,000	+6.9%
営業利益	3,165	4,007	5,000	+24.8%
経常利益	2,878	3,707	4,500	+21.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	827	1,792	2,500	+39.5%

(株式会社ギガプライズの決算期変更による13か月の変則決算を含む)

- 『SiLK VISION 2024』の最終年度となる2024年4月期においては、業績目標である**連結売上高500億円、連結営業利益50億円**の達成を実現すべく、グループ内の経営資源を有効活用した効果的な戦略投資でDX分野及び新事業分野の成長拡大を行いつつ、目標達成を見込む
- 次期中期経営計画『**SiLK VISION 2027**』を見据えた、**パフォーマンスゾーンの更なる成長施策とトランスフォーメーションゾーン、インキュベーションゾーンの収益化に向けた施策**を実行
- **急速な技術革新などの変化に対応**すべく、2024年4月期を2回目の『**Transformation Term**』と位置づけ、組織戦略、人事戦略、事業戦略の再点検を実施し、未来を深掘りしたアクションを起こす



毎日、発明する会社

遠隔診療

新規参入

法改正

クッキー  
廃止

Platform

インフル  
エンサー

容量増大

OSの進化

台湾有事

検索広告市場  
の劇的な収縮

市場の  
寡占化

ISP/MVN

のんしん T

ルステック

5G

eSIM

LLMによる  
影響と社会変化

2025年問題

AI

処方箋  
電子化

人口と労働力/医療/介護/  
社会保障費/空き家の  
5つの問題の顕在化

2030年問題

Dataの  
寡占化

Blockchain

RSA暗号の無効化

全ての事業領域で**破壊的な技術**などによる  
影響を受ける可能性が高い



# 業績推移



- 売上高
- 営業利益
- 株価 (高値)

2013年11月13日 freebit mobile発表

2013年12月2日 過去最高値

買収/販路開拓/  
基礎開発

freebit  
イノベーション  
SiLK VISION 2024

イノベーション

買収/販路開拓/  
基礎開発

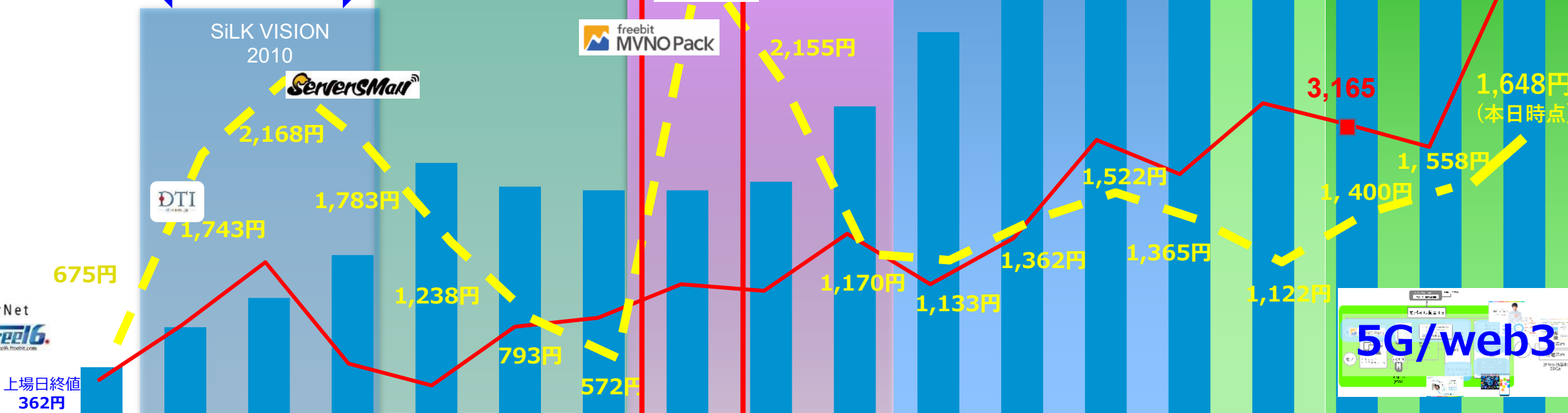
イノベーション

SiLK VISION 2016

SiLK VISION 2020

Transformation  
Term

50,000 (予想)



07/4期  
マザーズ市場上場  
東京証券取引所

08/4期  
DTI M&A子会社化  
DTI

09/4期  
M&A子会社化  
GIGA PRIZE

10/4期

11/4期  
M&A子会社化  
Full Speed

12/4期

13/4期

14/4期  
Freebit mobile 開始  
\*YourNet MVNO pack

15/4期  
トーンモバイル (CCC合併会社)

16/4期  
M&A子会社化  
freebit EPARK

17/4期  
東京証券取引所  
市場一部市場変更

18/4期  
GPA子会社化  
Pフォーメンバーズ

19/4期  
M&A子会社化  
アルク

20/4期  
DTIがトーンモバイル 全事業承継

21/4期  
EPARKがアルク フォーメンバーズを オフバランス化

22/4期  
東京証券取引所  
プライム市場変更

23/4期  
フルスピード 完全子会社化

24/4期 (予想)  
アルプスアルパインへの第三者割当実施

# 当社株式等の大規模買付行為等に関する対応方針の導入について

## 対応方針の導入の背景

- 当社は、2023年5月18日開催の取締役会決議により、当社株式等の大規模買付行為等に関する対応方針を導入することを決議し、本対応方針は、同日付けで効力が生じております。
- 当社は、「Being The NET Frontier! ~Internetをひろげ、社会に貢献する~」との 企業理念のもと、自らの利益を追求するだけでなく、インターネットをひろげることで社会に貢献する企業でありたいと考えています。そして、中長期的な企業価値向上や持続的な成長を遂げていくには、将来の礎のための投資が不可欠だと考えています。
- そのためには、多くの株主の皆様当社グループの経営理念にご賛同を得たうえで、中長期的にご支援いただけることが重要であると認識しています。
- 株主の皆様には、改めて本対応方針へのご理解と当社へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 2. 2023年4月期 通期連結業績

---

# 2023年4月期 通期 連結業績サマリ

(単位：百万円)		22年4月期 通期	23年4月期 通期		増減額		増減率	
			実績	業績予想 (上方修正後)	前期比	業績予想比 (上方修正後)	前期比	業績予想比 (上方修正後)
売上高	実績	43,075	<b>46,771</b>	46,000	+3,695	+771	+8.6%	+1.7%
EBITDA	実績	3,290	<b>4,065</b>	—	+775	—	+23.6%	—
営業利益	実績	3,165	<b>4,007</b>	3,500	+842	+507	+26.6%	+14.5%
	ベース 利益	(4,835)	<b>(5,291)</b>	—	(+455)	—	(+9.4%)	—
経常利益	実績	2,878	<b>3,707</b>	3,250	+828	+457	+28.8%	+14.1%
	ベース 利益	(4,549)	<b>(4,991)</b>	—	(+441)	—	(+9.7%)	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	実績	827	<b>1,792</b>	1,650	+964	+142	+116.5%	+8.6%
1株当たり 当期純利益	実績	41円86銭	<b>95円07銭</b>	—	53円21銭	—	—	—

※ベース利益は一時的な投資を除いた事業利益数値です。なお、未監査の参考数値となります。

- 売上高、及び各段階利益は全て**上方修正後の業績予想（3月10日発表）を上回り着地し、各段階利益は過去最高益**を達成
- 売上高は、**5G生活様式支援事業の5G Homestyle（GPG）及び企業・クリエイター5G DX支援事業**が堅調に推移し、**前期比<sup>(※1)</sup>8.6%増**
- 営業利益は、5Gインフラ支援事業、5G生活様式支援事業、企業・クリエイター5G DX支援事業の**3セグメントいずれも継続伸長**するとともに、効率的な戦略投資の実行により**前期比で26.6%増、ベース比<sup>(※2)</sup>は9.4%増**
- 経常利益は、好調なベース利益の推移や、効率的な戦略投資の実行等による営業利益の伸長等により**前期比で28.8%増、ベース比は9.7%増**
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、各段階利益の伸長及び税金費用の減少等により**前期比で116.5%増**
- 5G/web3/AI技術におけるパートナーシップの強化を目的とした**アルプスアルパイン社との資本業務提携契約を締結**

5G生活様式

企業・クリエイター  
5G DX

5Gインフラ

5G生活様式

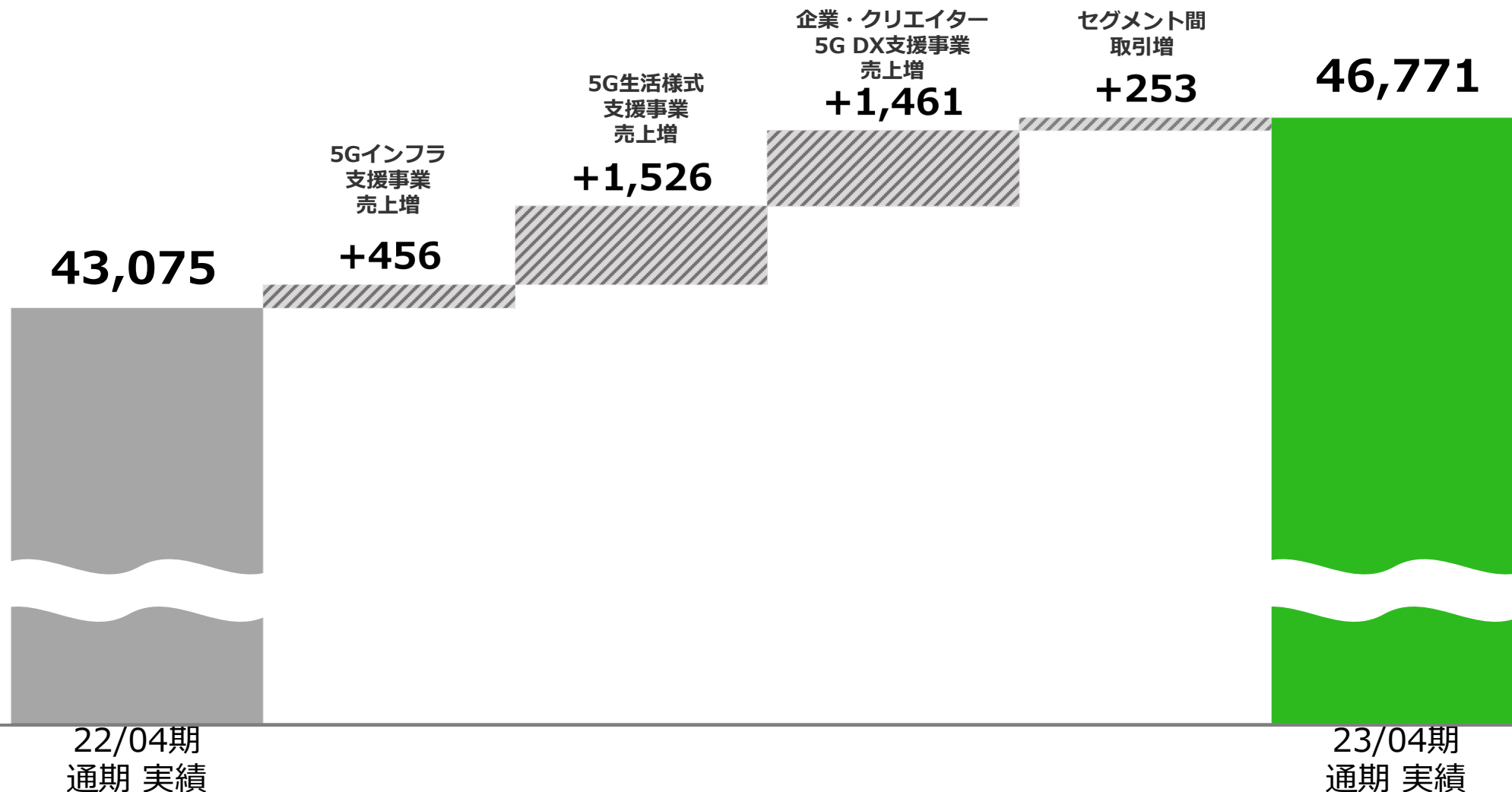
企業・クリエイター  
5G DX

※1.収益認識基準適用/オフバランス化した事業の影響がなくなり、今期より補正数値を利用せず  
純粋な実績比で前年同期と比較しています。

※2.ベース比は、ベース利益（一時的な投資を除いた未監査の事業利益）の対前年同期比となります。

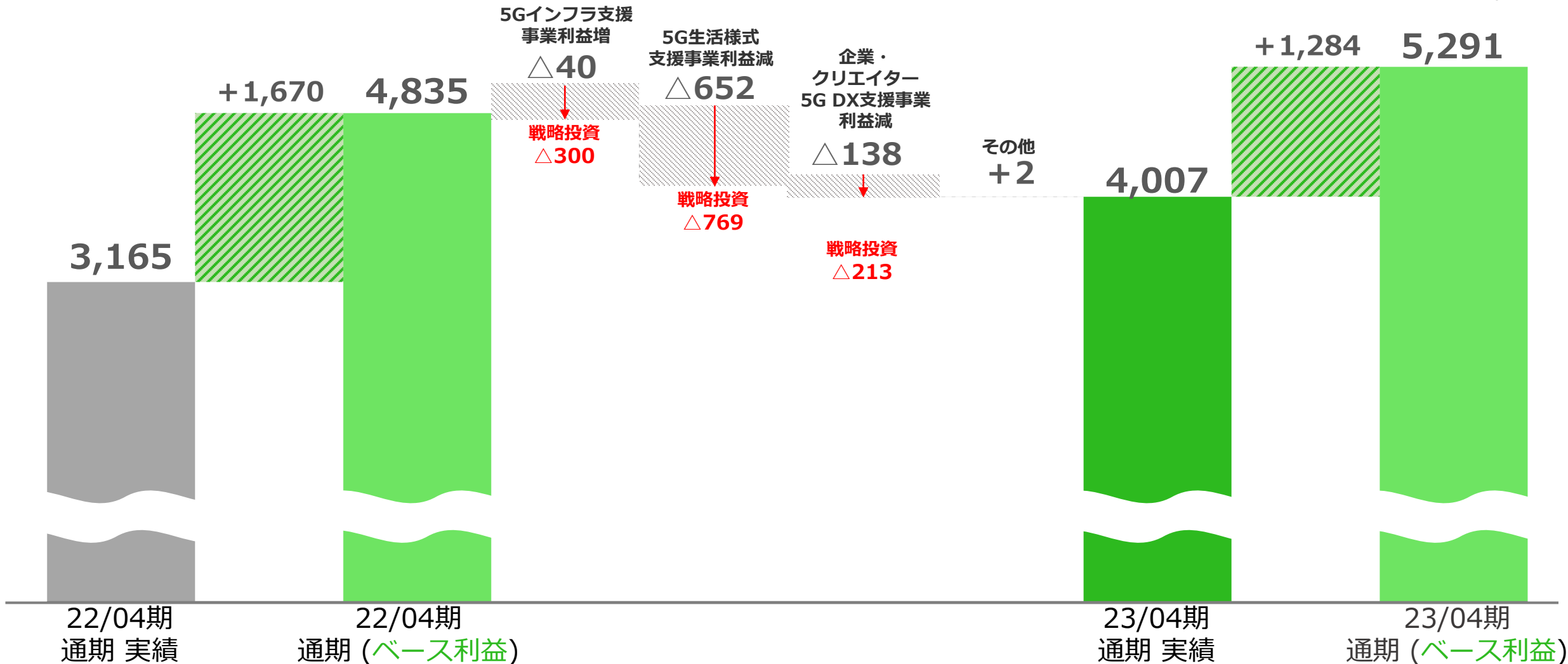
## 5G生活様式支援事業をはじめとし全てのセグメントが堅調に推移し、前期比で実績8.6%増

(単位：百万円)

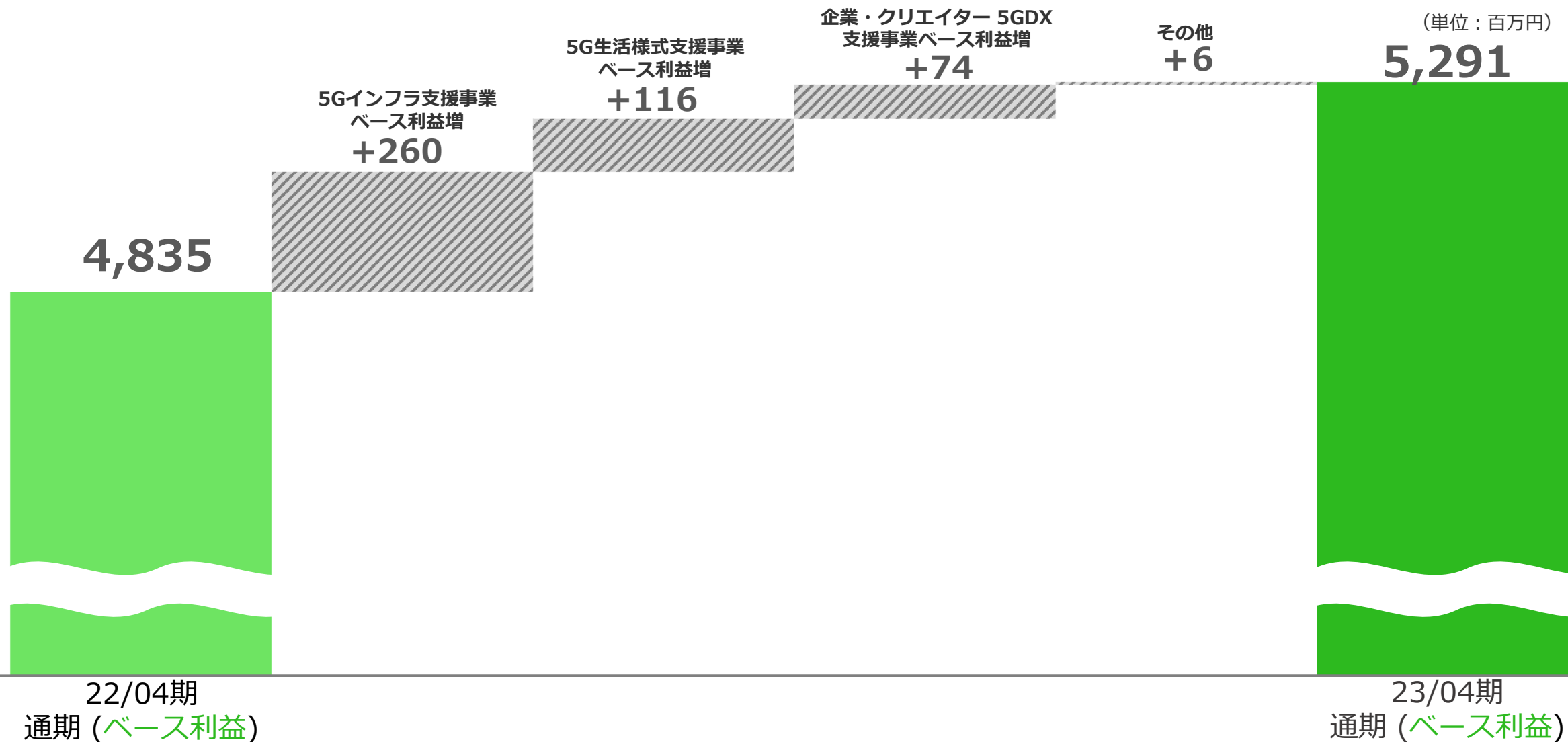


戦略投資を実行する一方で、5Gインフラ支援事業を中心に全てのセグメントが堅調に推移し、前期比で実績26.6%増、ベース利益9.4%増

(単位：百万円)



5Gインフラ支援事業を中心に全てのセグメントが堅調に推移し、  
ベース利益9.4%増





## 5G生活様式支援事業の広告宣伝及び新規事業を中心に戦略投資を実施 効率的な投資の実施により期初想定額を下回る

■ 5Gインフラ支援事業

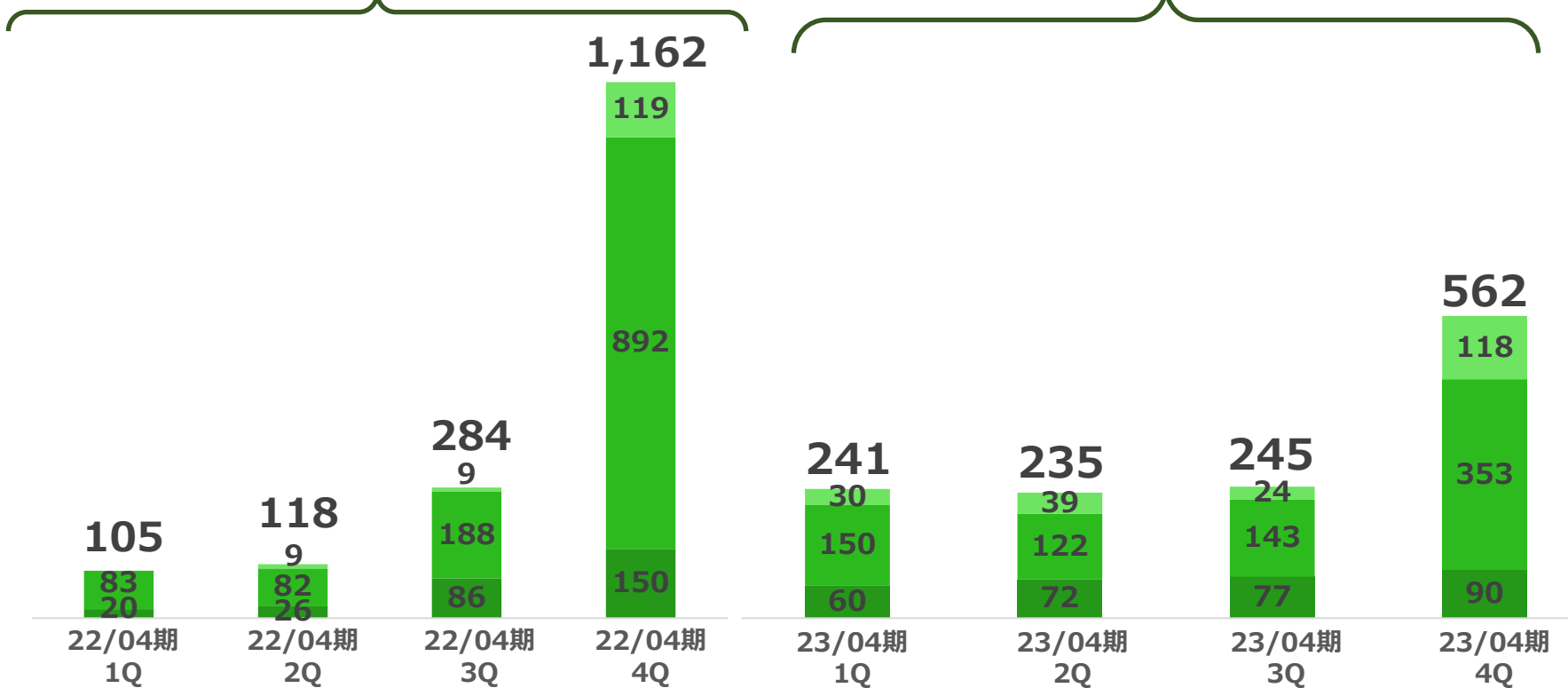
■ 5G生活様式支援事業

■ 企業・クリエイター 5G DX支援事業

(単位：百万円)

2022年4月期  
総額 16.7億円

2023年4月期  
総額 12.8億円



### 2023年4月期 戦略投資実績(累計)

#### 5Gインフラ支援事業(300百万円)

- ・ 5Gデータセンター整備
- ・ データ連携プロジェクト 等

#### 5G生活様式支援事業(769百万円)

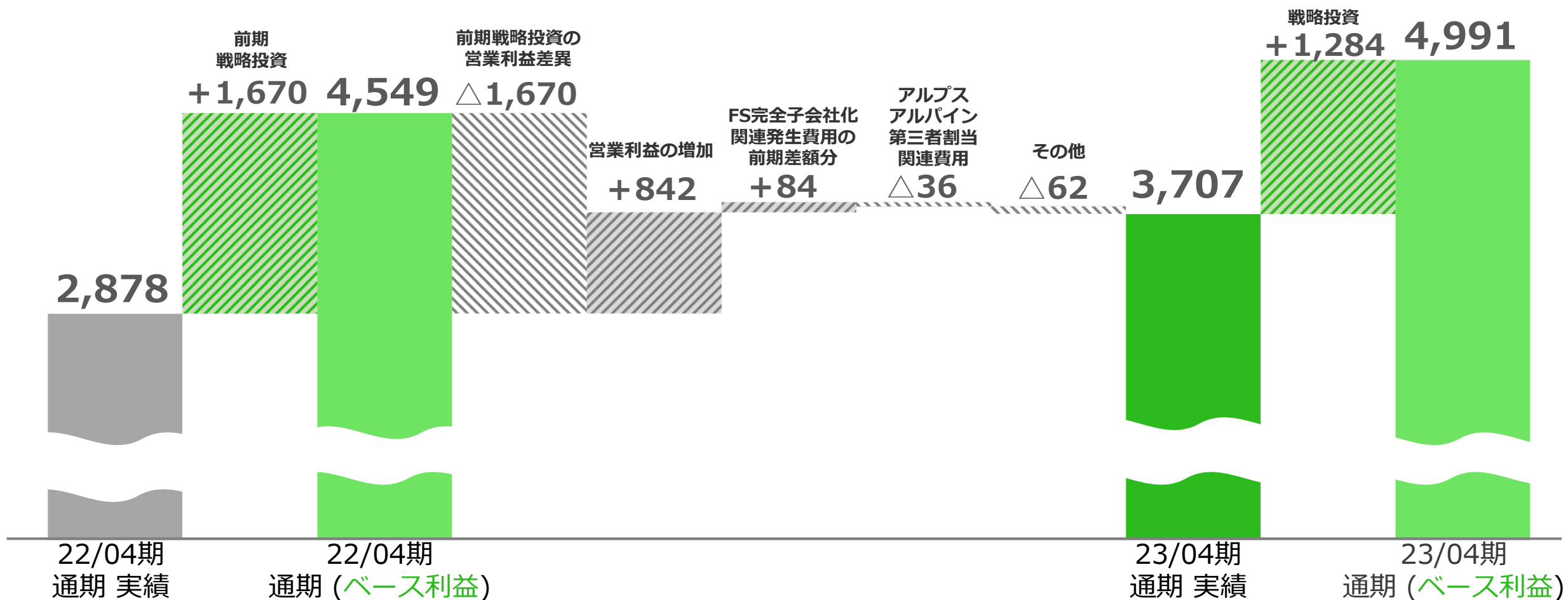
- ・ 「TONE」のプロモーション関連  
(ドコモショップでの販促強化ほか、  
ユーザー獲得見合での費用発生など  
効率的にプロモーションを展開)
- ・ 5G Healthstyle領域「TONE Care」の  
開発及び実証実験
- ・ web3(Blockchain)関係の開発  
及びテスト実施
- ・ 5G Workstyle領域のサービス開発 等

#### 企業・クリエイター5G DX 支援事業(213百万円)

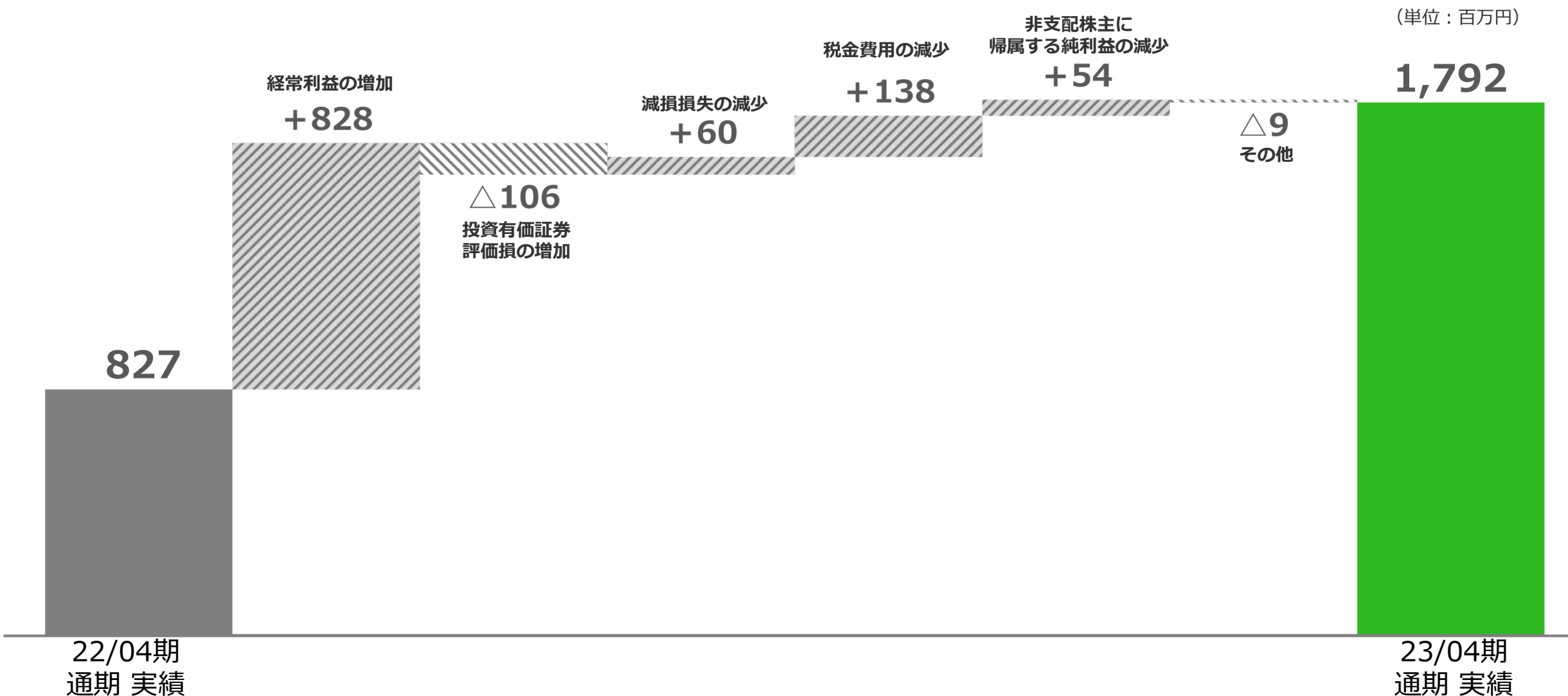
- ・ Creator Maker領域「StandAlone」の  
プラットフォーム多面展開に向けた開発  
及び人材拡充 等

ベース利益の好調な推移と効率的な戦略投資の実行により、  
前期比で実績は28.8%増、ベース利益は9.7%増

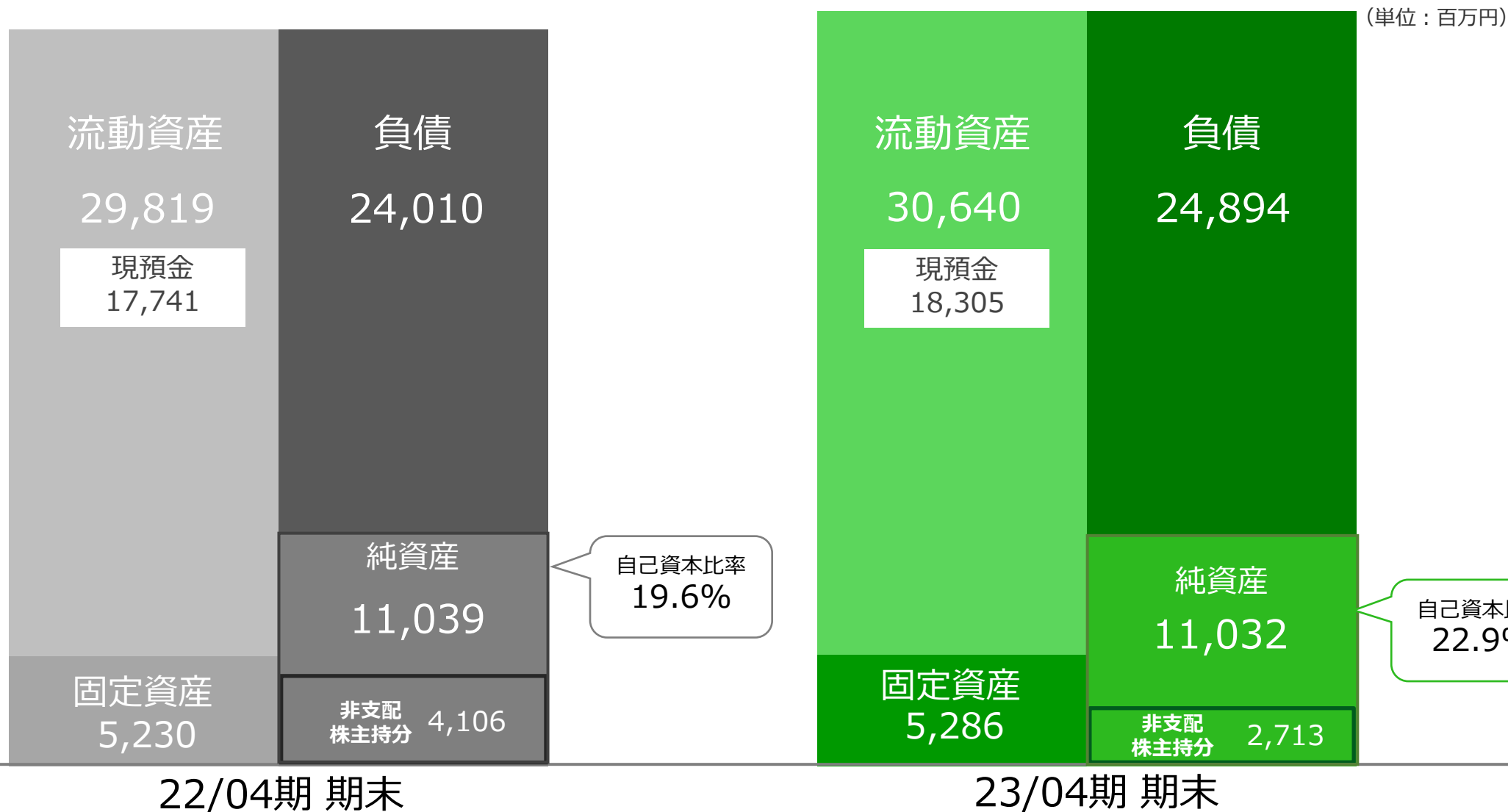
(単位：百万円)



## 経常利益の増加や税金費用の減少等により、前年同期比で実績116.5%増



FS完全子会社化、及び自己株式の第三者割当により現預金と純資産に変動があり  
自己資本比率は22.9%となる



5G/web3/AI技術におけるパートナーシップの強化を目的として資本業務提携契約を締結。自己株式1,140,000株の割当を実施

## 割当概要

株式の種類および数	普通株式 1,140,000株（発行済株式数の4.87%に相当）
割当価額	1株につき1,290円
払込金額の総額	1,470,600,000円
割当先	アルプスアルパイン株式会社
割当期日	2023年4月18日

# FS完全子会社化・第三者割当による自己株式の処分に伴うBSへの影響

(単位：百万円)	22/04期 期末	23/04期 期末	増減額	影響額の内訳
流動資産	29,819	30,640	+820	①FS完全子会社化 ・現預金 △3,782 株式取得費用 +1,600 株式取得のための借入
内 現預金	<b>17,741</b>	<b>18,305</b>	<b>△564</b>	
固定資産	5,230	5,286	+55	②第三者割当による自己株式処分 ・現預金 +1,470 第三者割当により増加
資産合計	35,050	35,926	+876	
負債	24,010	24,894	+883	①FS完全子会社化 ・資本剰余金 △1,687 完全子会社化により減少 ・非支配株主持分 △1,930 完全子会社化により減少
純資産	11,039	11,032	△6	
内 資本剰余金	<b>3,050</b>	<b>1,645</b>	<b>△1,651</b>	②第三者割当による自己株式処分 ・資本剰余金 +397 第三者割当により増加 ・自己株式 +1,073 第三者割当により減少
内 自己株式	<b>△4,343</b>	<b>△3,251</b>	<b>+1,092</b>	
内 非支配株主持分	<b>4,106</b>	<b>2,713</b>	<b>△1,392</b>	
負債・純資産合計	35,050	35,926	+876	

## 第三者割当での自己株式処分による資本拡充、過去最高の当期純利益の達成、今後の事業展開等を総合的に勘案し8.0円での配当を決定

2023年6月9日開示



2023年6月9日

各位

会社名 フリービット株式会社  
(コード番号 3843: 東証プライム市場)  
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号  
代表者 代表取締役社長 CEO 兼 CTO 石田 宏樹  
問合せ先 取締役グループ経営企画本部長 和田 育子  
電話番号 03-5459-0522 (代表)  
(URL: <https://freebit.com/>)

**剰余金の配当に関するお知らせ**

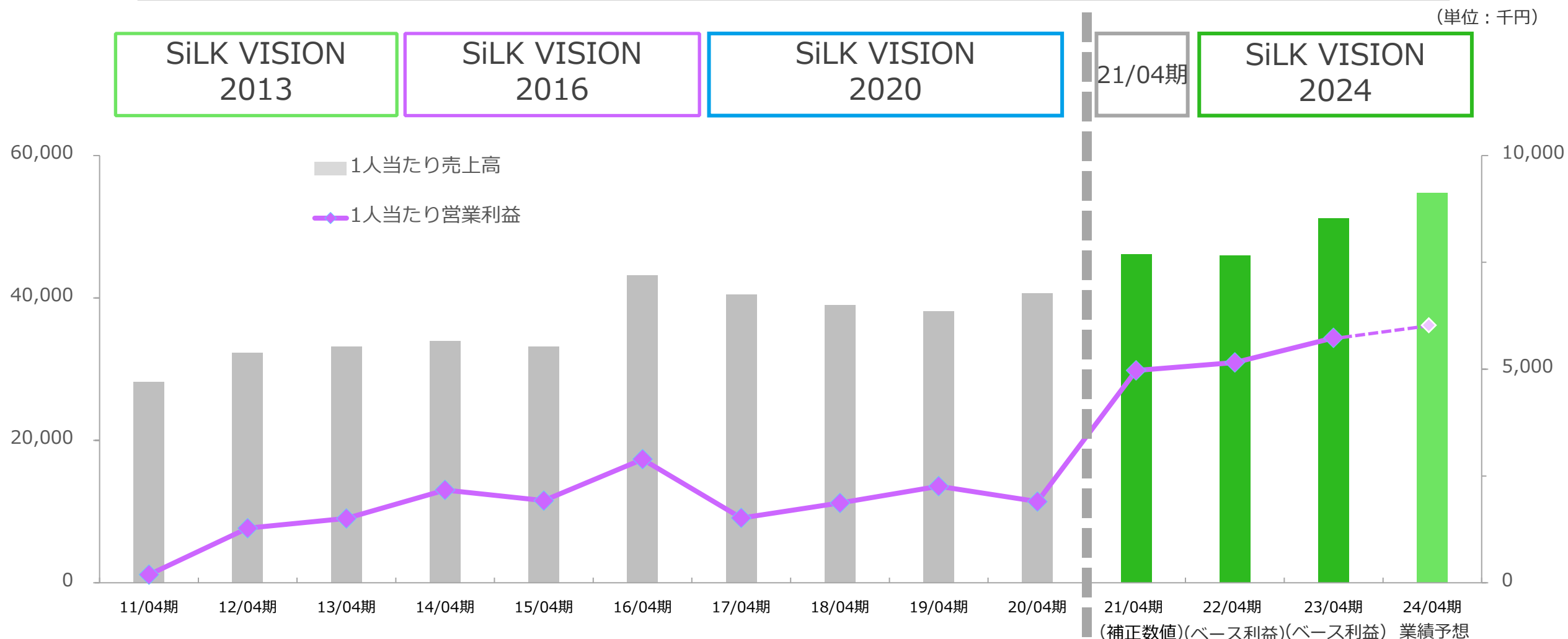
当社は、2023年6月9日開催の取締役会において、下記のとおり、2023年4月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 配当の内容

	2023年4月期 (決定額)	2022年4月期 (実績)	2021年4月期 (実績)
基準日	2023年4月30日	2022年4月30日	2021年4月30日
1株当たり 配当金	<b>8円00銭</b>	7円50銭	7円00銭
配当金総額	159百万円	141百万円	146百万円
効力発生日	2023年7月13日	2022年7月14日	2021年7月15日
配当原資	利益剰余金	利益剰余金	利益剰余金

## 1人当たりの売上高・営業利益（ベース利益）は前期を上回り着地



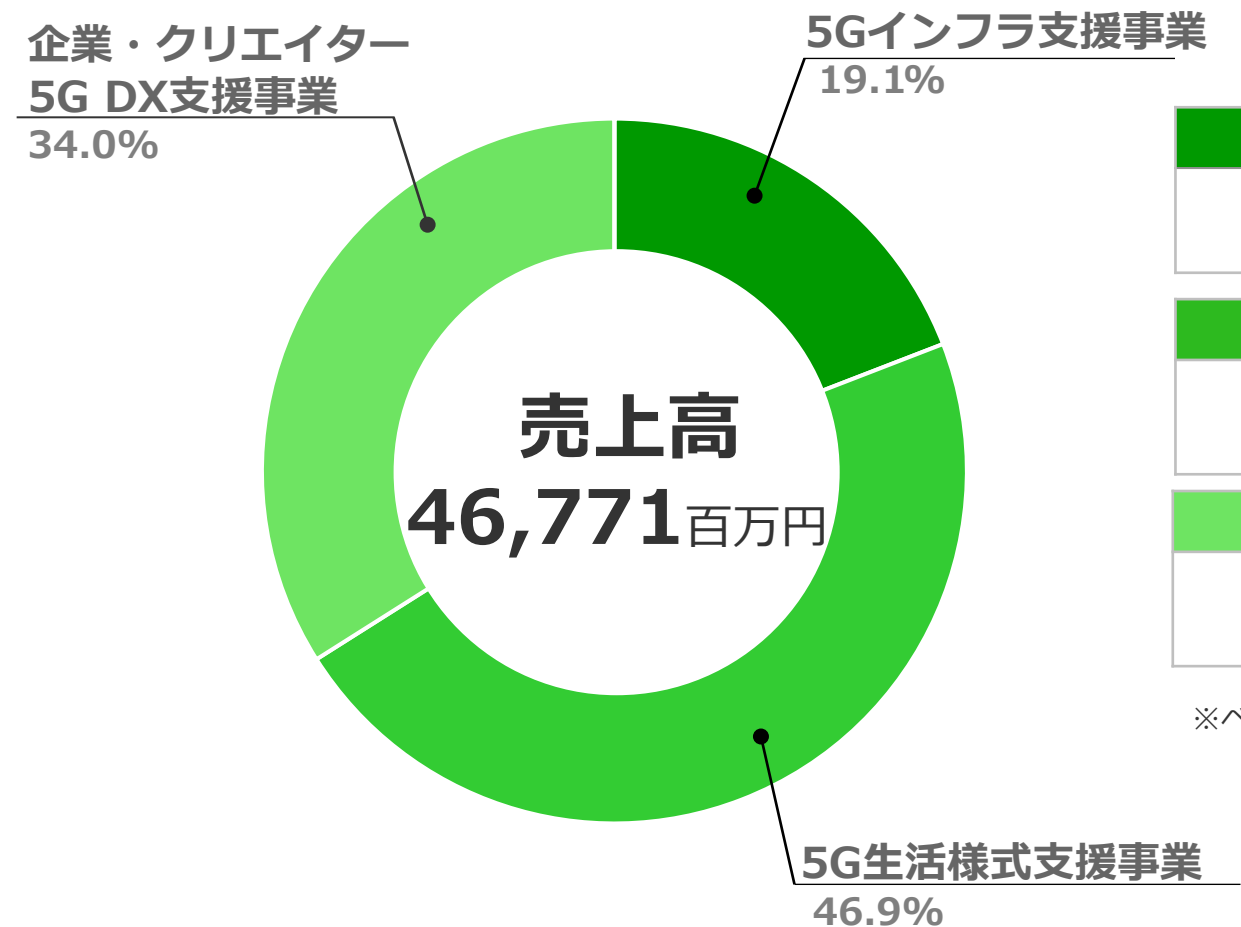
※補正数値・ベース利益は未監査の参考数値です  
 ※24期は23期の人員数を用いて試算



### 3. 2023年4月期 通期 セグメント別業績

---

## 5Gインフラ支援事業、5G生活様式支援事業、企業・クリエイター5G DX支援事業3セグメントともに増収



売上高		セグメント損益	
<b>5Gインフラ支援事業</b>			
実績	9,489 百万円 YoY +5.1%	実績	1,378 百万円 ベース比 YoY +18.4%
<b>5G生活様式支援事業</b>			
実績	23,261 百万円 YoY +7.0%	実績	2,039 百万円 ベース比 YoY +4.3%
<b>企業・クリエイター5G DX支援事業</b>			
実績	16,849 百万円 YoY +9.5%	実績	604 百万円 ベース比 YoY +10.1%

※ベース比は、未監査の参考数値を用いて算出した値です

SiLK VISION 2020

SiLK VISION 2024

SiLK VISION 2027

SiLK VISION 2030

インキュベーションゾーン

トランスフォーメーションゾーン

## パフォーマンスゾーン

- インフラテック事業 (freebit, DTI)
- アドテック事業 (FullSpeed)
- 不動産テック事業 (GIGA PRIZE)

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト
- Maker's Maker

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)  
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/  
5G Carlifestyle (MaaS)

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)  
5G Homestyle

5Gインフラ支援事業

既存事業のほとんどは  
パフォーマンスゾーンにシフト。  
5GやeSIM対応等の時代の変化を  
取り入れながら継続成長。

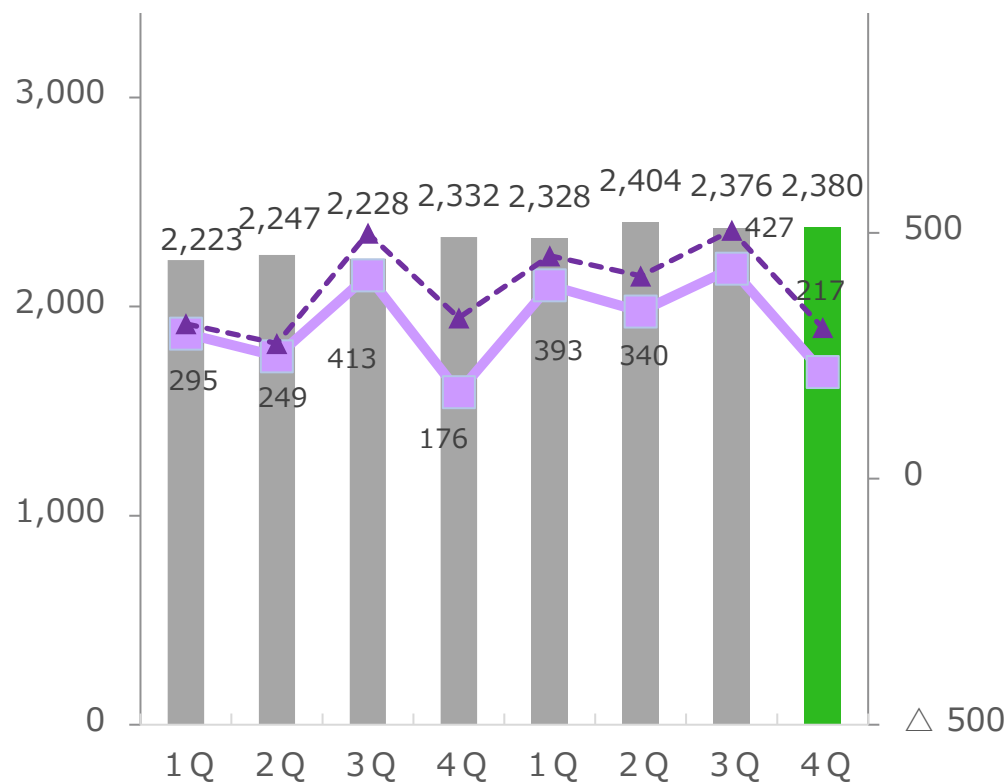
## B2Bモバイルのサービス利用増及びB2B固定網のコスト改善等により 前期比18.4%の利益増 (ベース比)

売上高・セグメント損益

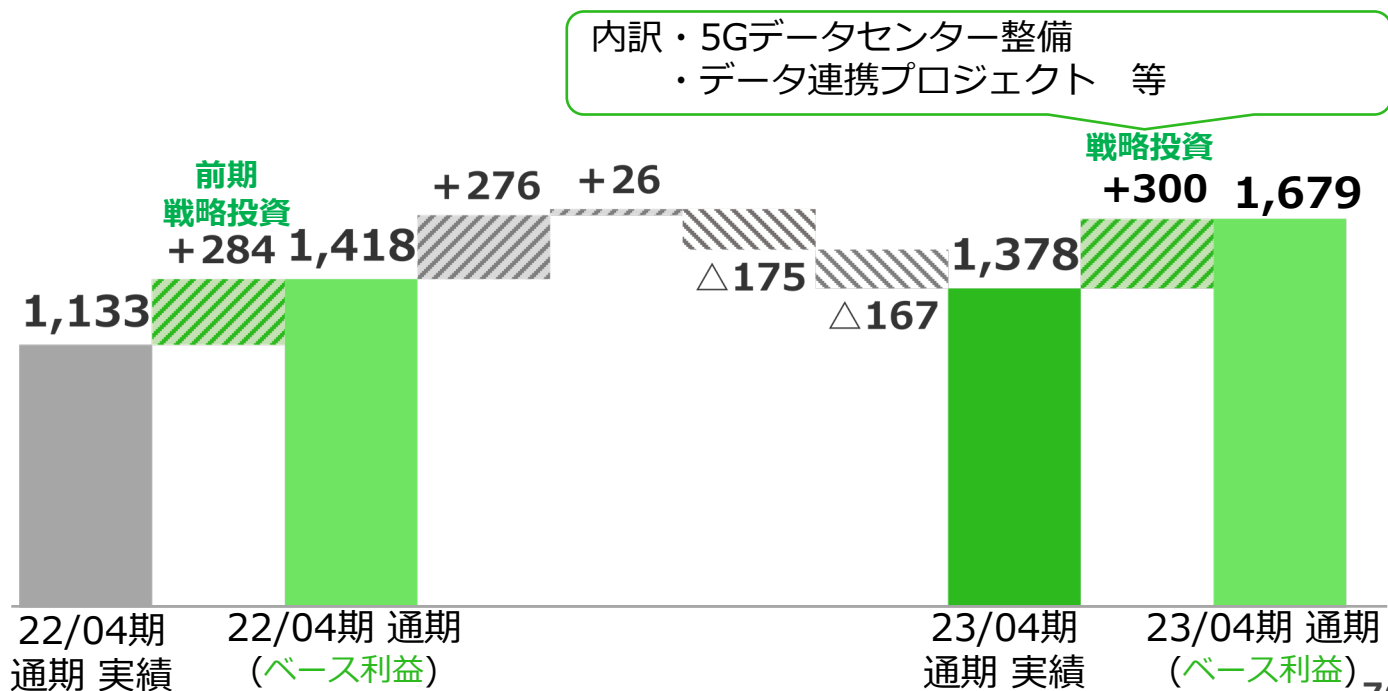
セグメント損益前年同期比差異分析

(単位：百万円)

- 売上高 (実績)
- セグメント損益 (実績)
- ▲ セグメント損益 (ベース利益)※

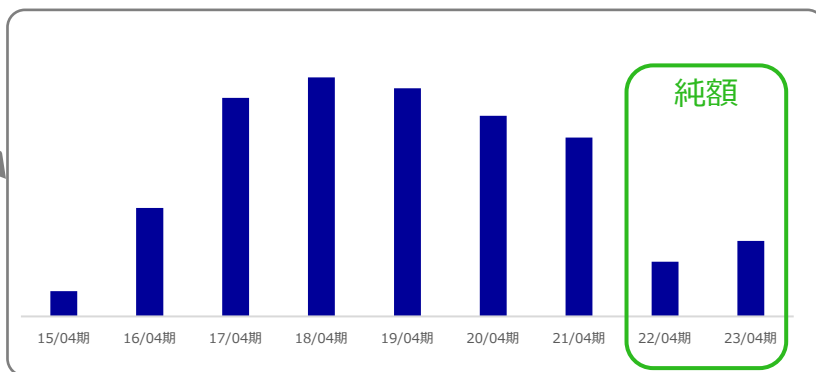
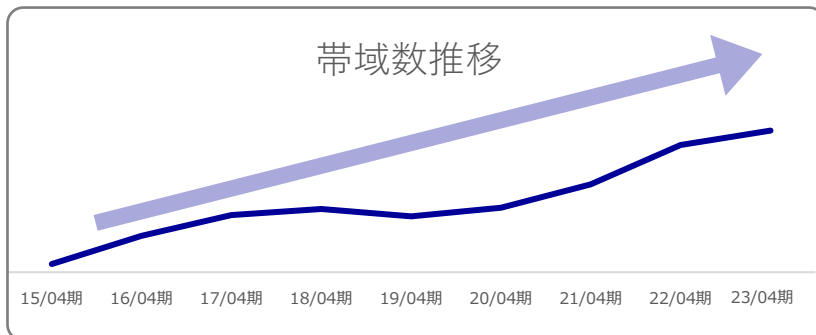
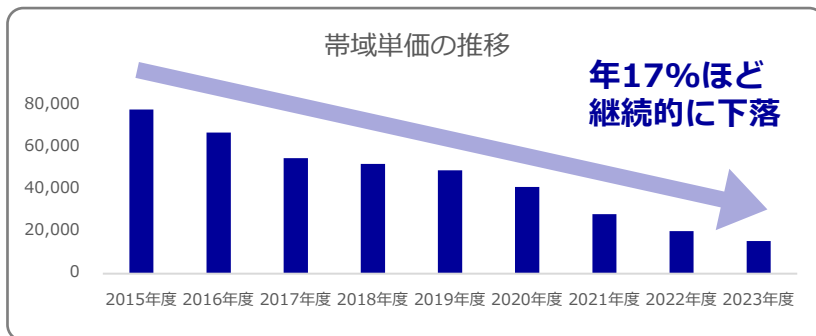


- +284** 前期戦略投資 (単位：百万円)
- +276** B2Bモバイル:サービス利用増による利益増
- +26** B2B固定網 :コスト改善による利益増
- △175** クラウド :5Gデータセンター整備の影響額 (戦略投資) 及びサービス利用減による利益減
- △167** その他 : 人件費増加等による利益減

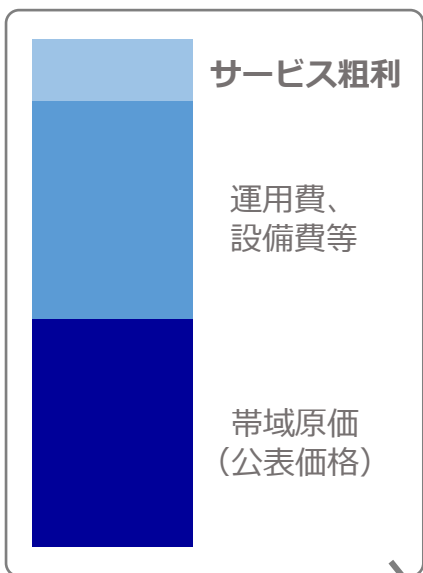


内訳・5Gデータセンター整備  
・データ連携プロジェクト 等

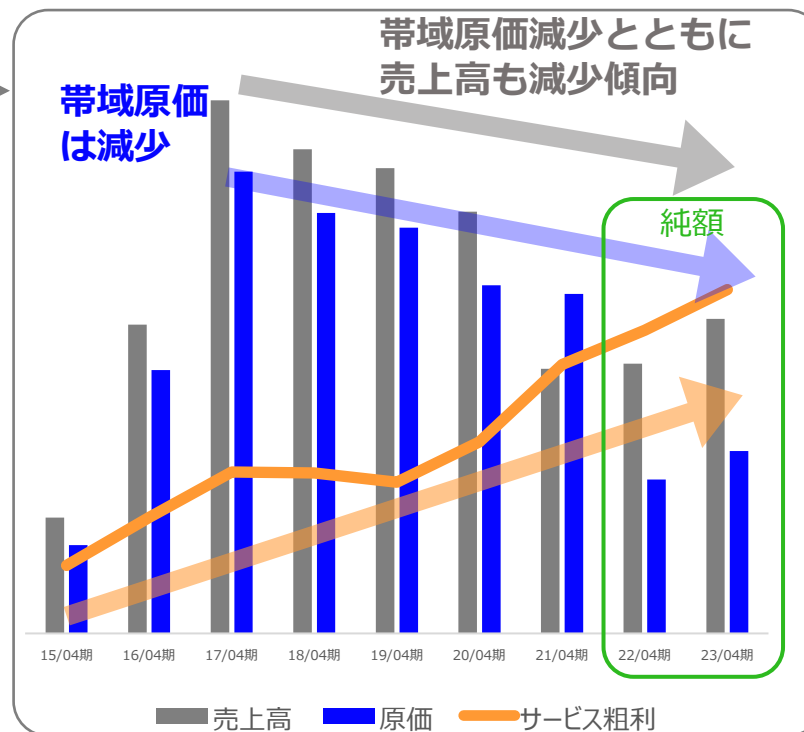
## トレンド（帯域原価の単価・帯域数）



## 収益構造（概算）



## トレンド（売上・粗利）



## 2023年4月期

- 新規参入事業者の獲得の成功等により提供帯域が増大し、取扱高は増加
- 低価格な通話パッケージサービスで差別化を図るためにデータ+音声SIMの獲得を進める等によりサービス粗利の増加に貢献
- 5GやeSIMなど上位レイヤーのサービスを付加していく

SiLK VISION 2020

SiLK VISION 2024

SiLK VISION 2027

SiLK VISION 2030

インキュベーションゾーン  
トランスフォーメーションゾーン

## パフォーマンスゾーン

- インフラテック事業 (freebit, DTI)
- アドテック事業 (FullSpeed)
- 不動産テック事業 (GIGA PRIZE)

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト
- Maker's Maker

## 企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)  
Bizmodel Maker (4.0)

## 5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/  
5G Carlifestyle (MaaS)

## 5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)  
5G Homestyle

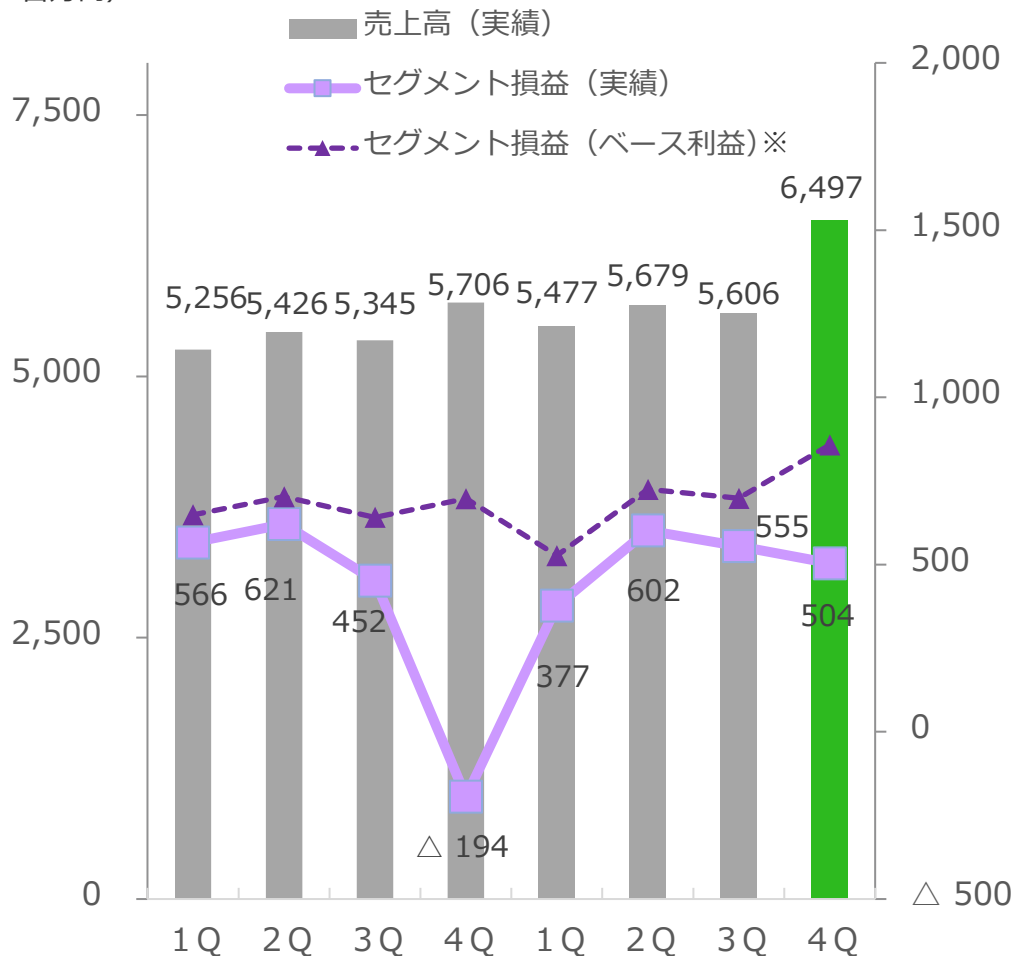
## 5Gインフラ支援事業

既存事業のほとんどは  
パフォーマンスゾーンにシフト。  
5GやeSIM対応等の時代の変化を  
取り入れながら継続成長。

## 5G Lifestyleのサービススペック強化や販売力強化施策、新規プロダクト群へ投資等を実行するも5G Homestyleの堅調な推移により前期比4.3%の利益増（ベース比）

売上高・セグメント損益

(単位：百万円)



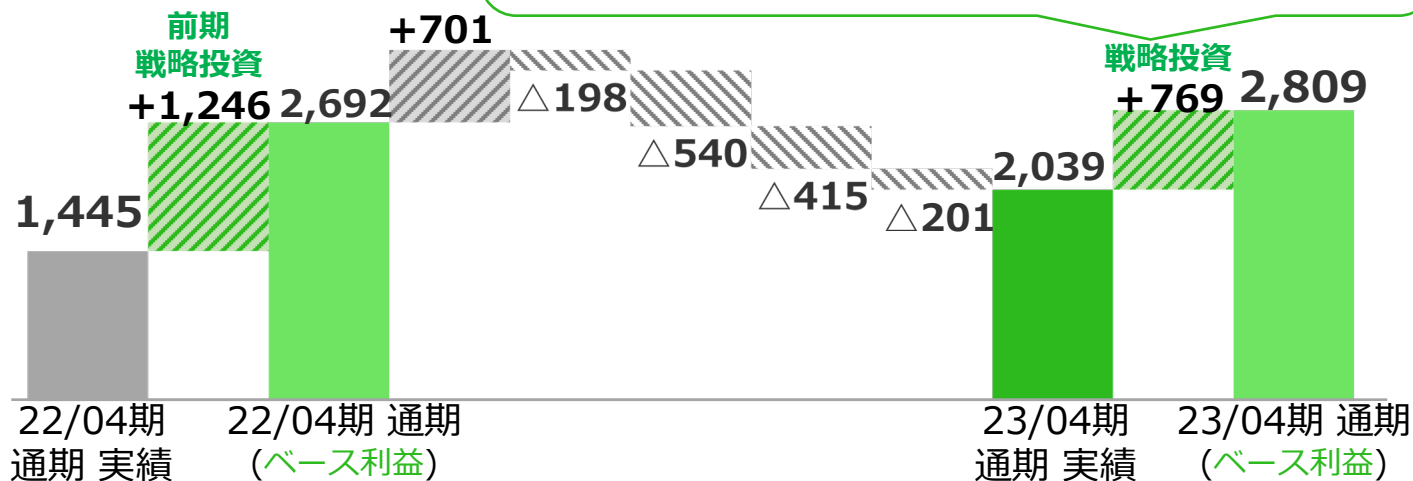
セグメント損益前年同期比差異分析

+1,246 前期戦略投資

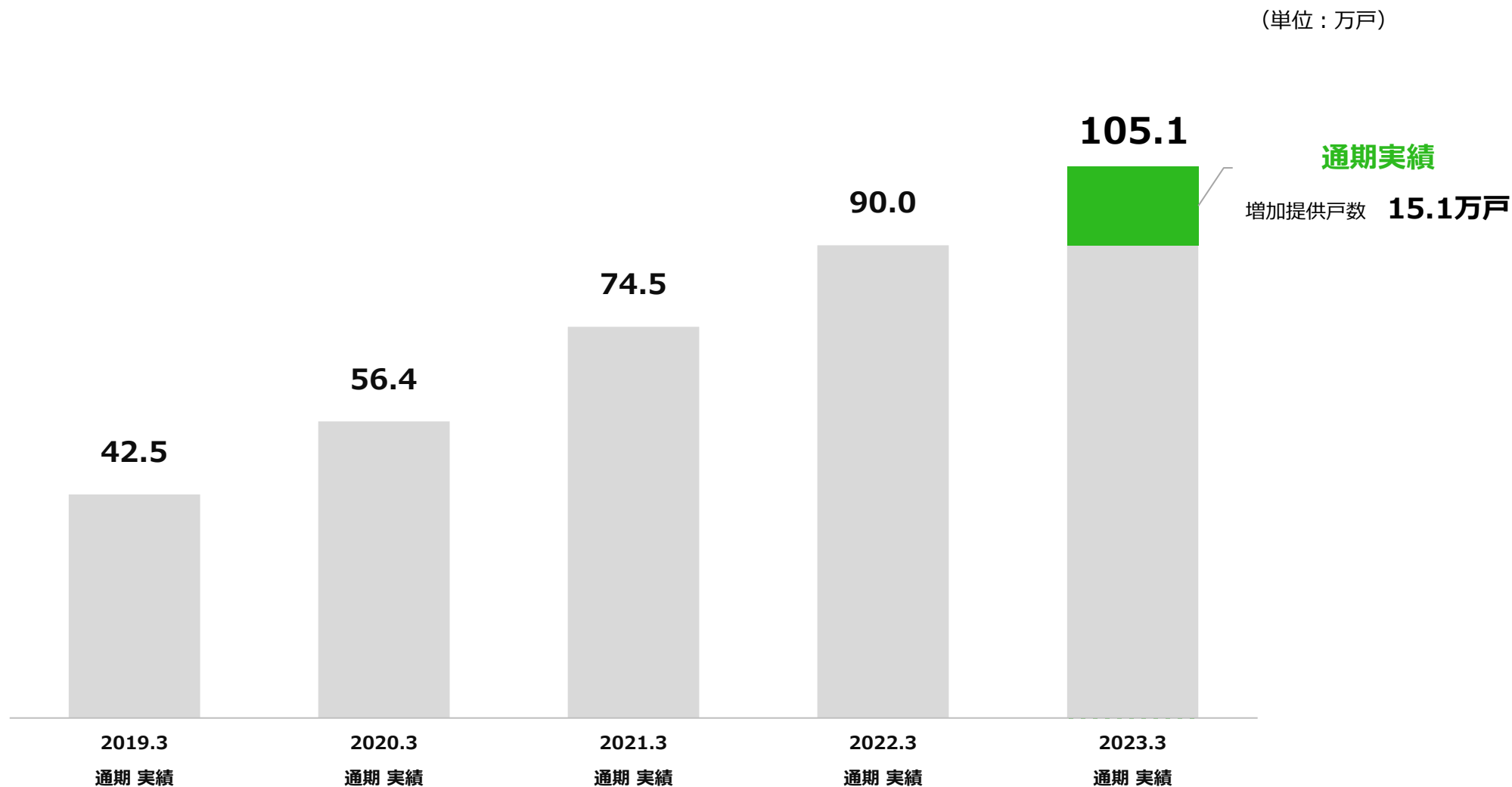
(単位：百万円)

- +701 5G Homestyle[GPG]の売上増による利益増
- △198 ADSLの廃止等に伴う5G Lifestyle[DTI]の利益減
- △540 5G Lifestyle[TONE]のサービススペック強化等によるユーザーシフト等による粗利減、ドコモショップとの共同販売力強化施策及び獲得あたりのインセンティブを含む費用
- △415 新規プロダクト群への戦略投資等
- △201 その他

内訳・「TONE」のプロモーション関連  
 ・5G Healthstyle領域「TONE Care」の開発及び実証実験  
 ・web3(Blockchain)関係の開発及びテストの実施  
 ・5G Workstyle領域のサービス開発 等



## 5G Homestyle (GPG) の重要指標である集合住宅向けISPサービスの提供戸数は前期末比で15.1万戸増となり、通期業績予想の105万戸を上回り着地





## 「LIVING TOWN みなとみらい」が4/29にプレオープン。 アルプスアルパイン社との資本業務提携により技術提供も開始

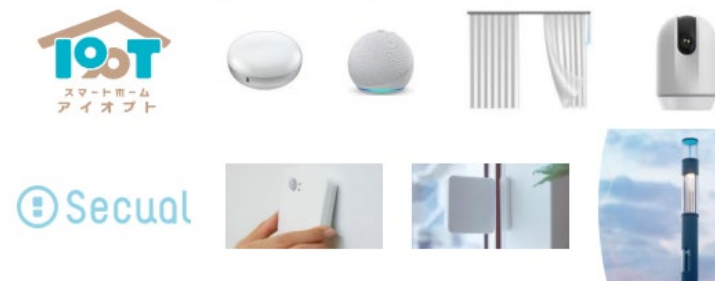
### ● 「LIVING TOWN みなとみらい」のプレオープン

住宅展示場エリア「LIFE CREATION区画」に、アイ工務店の運営する「アイメッセみなとみらい」が4/29にプレオープン。モデルハウス内にオプテージ社が提供するIoTサービス「IOPT（アイオプト）」や、Secual社のホームセキュリティサービスを提供し、実際にスマートホームを体感・体験していただく場を提供

- アルプスアルパイン社との資本業務提携により共同実証実験開始  
フリービットとアルプスアルパイン社の資本業務提携により5G Homestyle分野でも技術連携開始（3/31）  
「LIVING TOWN みなとみらい」にて技術連携を開始。5G領域におけるIoT、住宅空間などの生活様式への取り組みを強化。



「アイメッセみなとみらい」イメージパース



当社が提供するIoTサービスイメージ



「LIVINGTOWN みなとみらい」施設構成

## ドローンを活用した高所メンテナンスサービスや、オール顔認証マンションに顔認証のプラットフォーム提供等の新規サービス開始

### ●ドローンを活用した高所メンテナンスサービスの提供

D.U-NET社およびFlight PILOT社の3社で開発  
集合住宅や戸建住宅地等の高所の点検や作業等に  
ドローンを活用して安全かつ効率的に実施



屋根部の洗浄の様子

### ●オール顔認証マンション向けに顔認証プラットフォーム「FreeID」の提供

ギガプライズが提供する集合住宅向けISPサービスと、  
DXYZ社が開発・提供する顔認証プラットフォーム  
「FreeID」の相互販売を目的に業務提携を開始。  
お客様のニーズに合わせて「FreeID」を提案し、導入  
工事から保守・サポートまでをワンストップで行う。



SiLK VISION 2020

SiLK VISION 2024

SiLK VISION 2027

SiLK VISION 2030

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)  
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/  
5G Carlifestyle (MaaS)

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)  
5G Homestyle

5Gインフラ支援事業

既存事業のほとんどは  
パフォーマンスゾーンにシフト。  
5GやeSIM対応等の時代の変化を  
取り入れながら継続成長。

インキュベーションゾーン

トランスフォーメーション  
ゾーン

## パフォーマンスゾーン

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト
- Maker's Maker

- インフラテック事業 (freebit, DTI)
- アドテック事業 (FullSpeed)
- 不動産テック事業 (GIGA PRIZE)

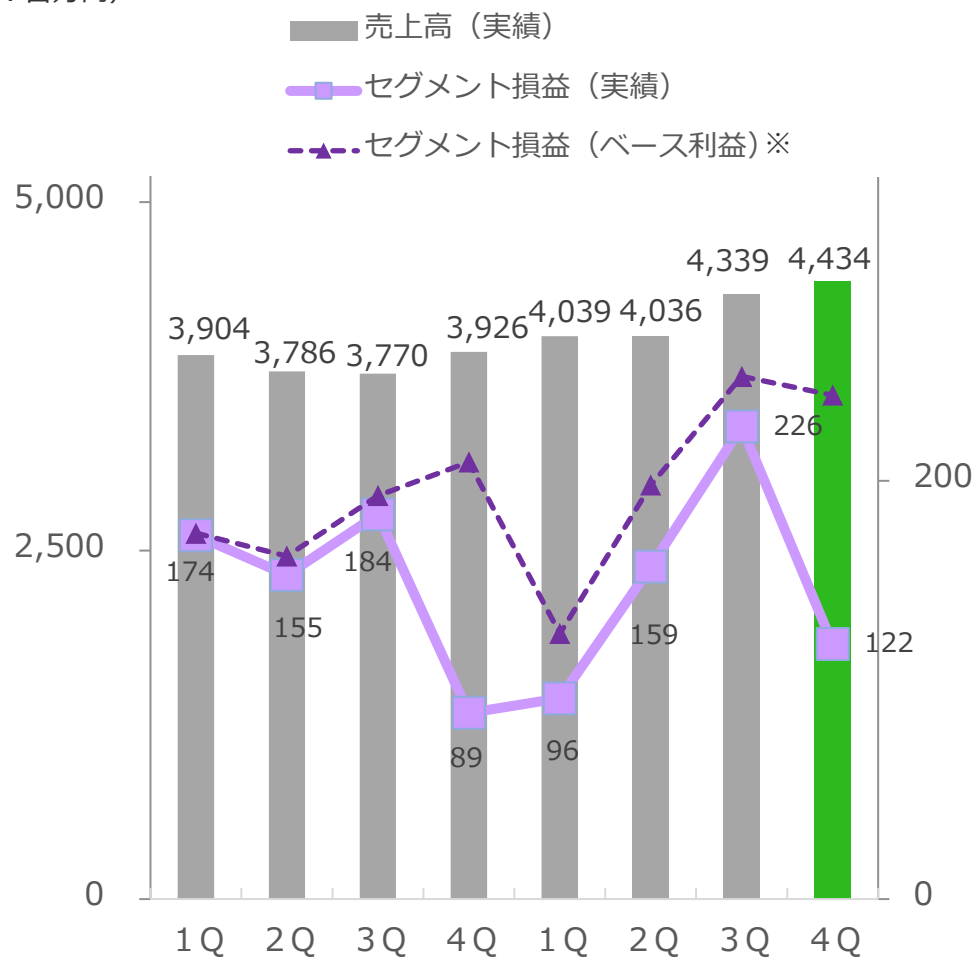


## コロナ禍以降の広告需要停滞から回復基調となり前期比10.1%の利益増（ベース比）

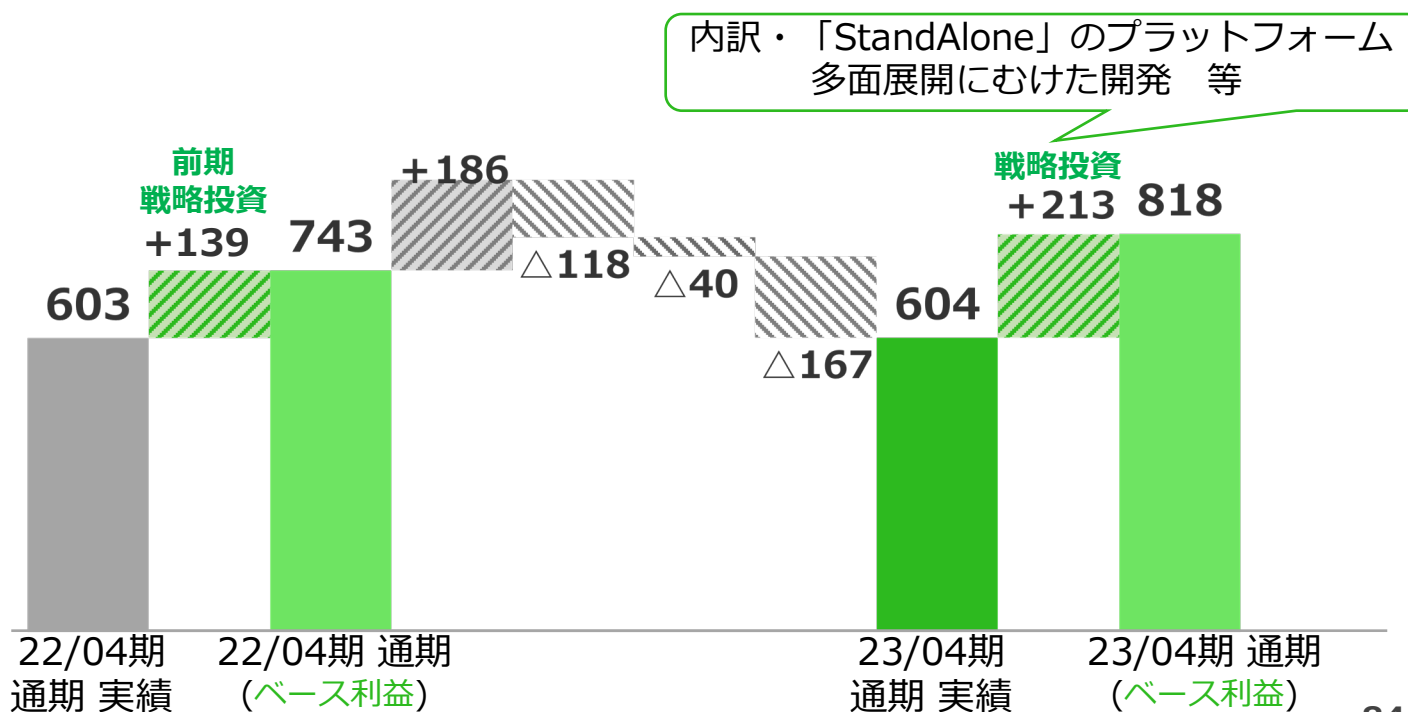
### 売上高・セグメント損益

### セグメント損益前年同期比差異分析

(単位：百万円)



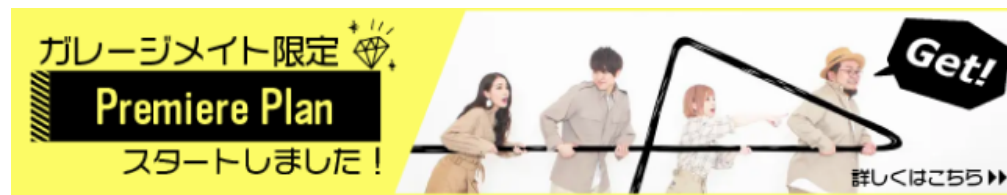
- +139** 前期戦略投資 (単位：百万円)
- +186** FSG売上増による粗利増
- $\Delta$  **118** FSG人材採用費及び人件費増
- $\Delta$  **40** FSGのEC関連事業にかかる広告宣伝費増
- $\Delta$  **167** その他（StandAlone多面展開にむけた開発等）



## クリエイター支援プラットフォーム「StandAlone」において、サブスクリプションサービスの開始やクリエイターのバースデイイベントを開催

### ● Play. Gooseのサブスクリプションサービス開始

月額300円(税込)でのサブスクリプションサービス開始。  
最新楽曲が先行でダウンロード/視聴可能なほか、Play.Gooseと一緒に音楽やイベントを創る体験や毎月のカバー曲の会員投票等アーティストとファンが双方向で作品を創るサービスを提供



### ● 俳優・赤楚衛二さんのバースデイイベントを開催

2/28(火)にフリービットオフィスで俳優・赤楚衛二さんのバースデイイベントをオンライン生配信。約6,500名がリアルタイムで参加し、会員数増加に繋がる。  
9月にフルスピード企画で東京大阪で計4回のファンミーティングを開催予定

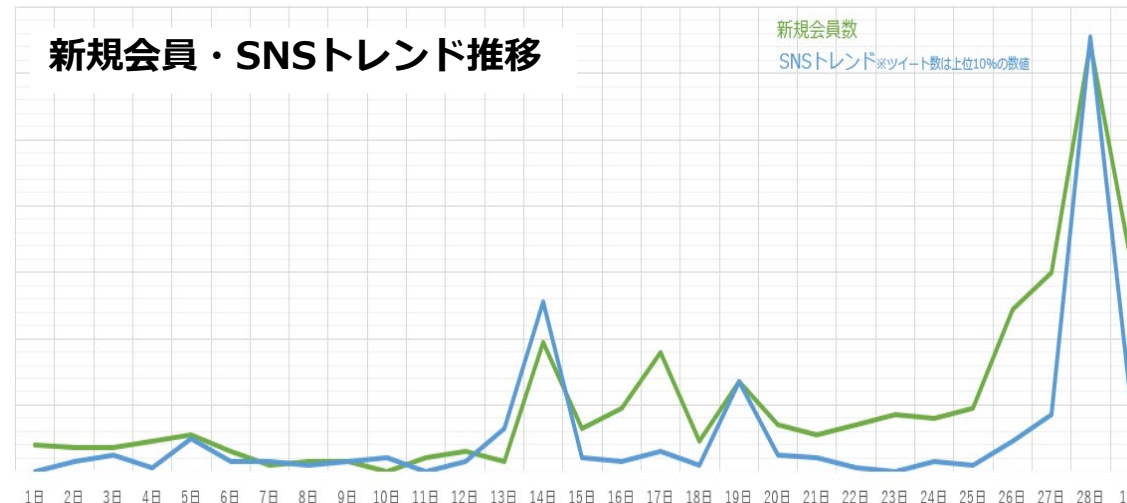


ストア評価 Google 「4.7」 Apple 「4.0」

### 提供サービスイメージ



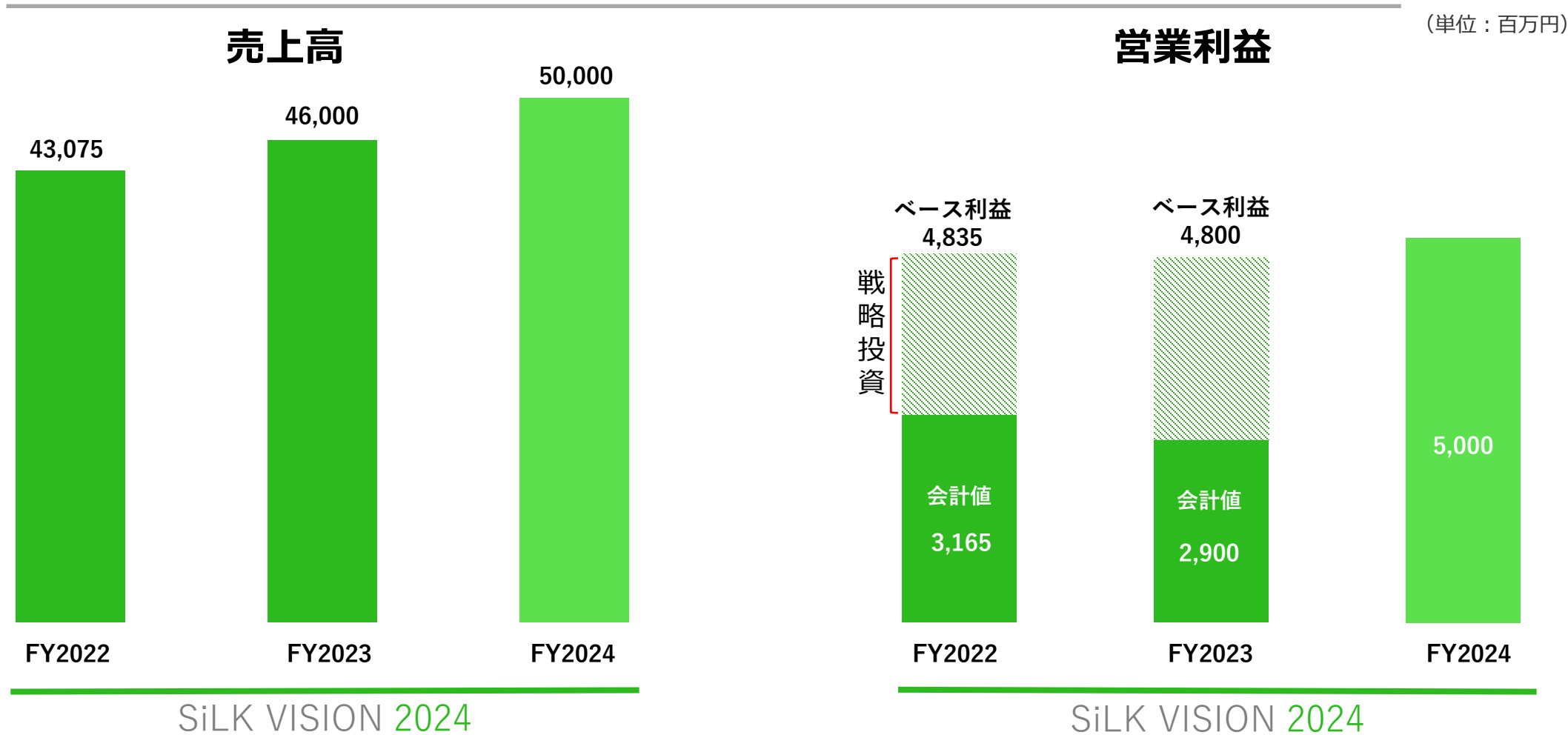
### 新規会員・SNSトレンド推移



## 4. 2024年4月期 通期連結業績予想

---

フリービットグループ 2024年4月期業績目標  
売上高**500億円**・営業利益**50億円**企業を目指す



(単位：百万円)	SiLK VISION 2024			
	22年04月期	23年04月期	24年04月期	
	実績	実績	業績予想	前期比
売上高	43,075	46,771	50,000	+6.9%
営業利益	3,165	4,007	5,000	+24.8%
経常利益	2,878	3,707	4,500	+21.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	827	1,792	2,500	+39.5%

(株式会社ギガプライズの決算期変更による13か月の変則決算を含む)

- 『SiLK VISION 2024』の最終年度となる2024年4月期においては、業績目標である**連結売上高500億円、連結営業利益50億円**の達成を実現すべく、グループ内の経営資源を有効活用した効果的な戦略投資でDX分野及び新事業分野の成長拡大を行いつつ、目標達成を見込む
- 次期中期経営計画『**SiLK VISION 2027**』を見据えた、**パフォーマンスゾーンの更なる成長施策とトランスフォーメーションゾーン、インキュベーションゾーンの収益化に向けた施策**を実行
- **急速な技術革新などの変化に対応**すべく、2024年4月期を2回目の『**Transformation Term**』と位置づけ、組織戦略、人事戦略、事業戦略の再点検を実施し、未来を深掘りしたアクションを起こす



本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社  
グループ経営企画本部 IR担当  
Email [freebit-ir@freebit.net](mailto:freebit-ir@freebit.net)  
WEB <https://freebit.com/>

## 5. Appendix

---

# 3つの革命領域と各事業の説明

## モバイル革命領域

環境問題、高齢化社会、低成長等の様々な社会問題を解決して持続可能な社会を実現するために、人々の生活の効率化と知の生産革命の基盤となるインフラを提供する領域。

## 5Gインフラ支援事業

5GとeSIM（SIMのソフトウェア化） / AI / Blockchainにより「ヒト」だけでなく膨大な「モノ」を安心・安価にConnectedな状態とすることで、その先につながる「コト（消費）」市場の創出までを支援するプラットフォームを提供する事業。

## 市場の可能性

国内産業向け5G関連市場は2,106億円、IoT市場は10.2兆円、MaaSに限っても2.9兆円という巨大市場が生まれるが（注）、各種の問題が顕在化している巨大プラットフォームとは異なる「DAO（自律分散型組織）」という独自の角度から、それらの巨大市場にアプローチする。

## 生活革命領域

持続可能な社会への移行のためには人々の働き方、学び方、生活の仕方が変わることとなるが、そのために必要な社会問題を解決し、新しい社会と価値を創造する領域。

## 5G生活様式支援事業

5G支援事業によって生まれるプラットフォームを活用し、5G時代ならではの「安心安全な生活」「健康」「働き方」「住まい」等の様々な「コト」市場の創造を支援する事業プラットフォームを構築・提供する事業。

## 市場の可能性

新型コロナにより人々の欲求は、マズローの5段階説の「安全欲求」まで下がったが、今後のワクチン普及により、より高次の欲求（＝コト消費）が復活。生活へのITの浸透が5Gで加速すること、 「モノ→サービス→コト」という、より高次の市場創出に寄与する。

## 生産革命領域

社会問題の解決のために、膨大な知識の中から適切な知識を動員するための「知の構造化」を行い、それによる「知の生産革命」によってイノベーションを起こす領域。

## 企業・クリエイター5G DX支援事業

5G時代のモノづくりを、企業だけでなく、今後のモノづくりの中心となるクリエイターやインフルエンサーに寄り添って、「（市場創出）→価値創造→検証→市場投入→顧客関係維持」までを可能とするプラットフォーム構築を、独自のDX手法により支援する事業。

## 市場の可能性

『マーケティング4.0』では、クリエイターやインフルエンサーが単純にモノやサービスを勧めるのではなく、それらを利用した結果、どのような自分になれるのかまでを提案する。つまり、マズローの「自己実現欲求」（＝コト消費）を満たす市場が求められる。